

平成22年度北海道文化財年報



世界遺産登録をめざす伊達市北黄金貝塚（国指定史跡）

平成23年6月

北海道教育庁 生涯学習推進局 文化・スポーツ課

はじめに

北海道には、長い間受け継がれてきた貴重な文化財が数多く残されています。これらは、北海道の歴史や文化を正しく理解するために欠かせないものであり、次の世代に確実に守り伝えていく必要があります。

文化財を保護するためには、調査や保存・整備・修理だけではなく、公開や情報発信を積極的に行い、その価値や魅力を広く共有することが大切です。このため、北海道教育委員会では、文化財に対する価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えて行くため、文化財に親しむ機会の提供や文化財に関する多様な情報の発信などを通して、文化財に親しむ環境づくりに取り組んでいます。

この年報では、空知大滝甌穴群をはじめとして新たに指定・登録された文化財や、縄文遺跡群の世界遺産登録に向けた取り組み、北海道文化財保護強調月間中の事業や北海道教育委員会が実施した文化財の各種調査や保存・整備、普及活用事業など、この一年間の文化財保護の歩みについて、写真・イラストを用いてわかりやすく紹介しています。

ご活用いただき、文化財をより身近に感じていただく機会になれば幸いです。

●この文化財年報に関するお問い合わせ先

〒060-8544 札幌市中央区北3条西7丁目

北海道教育庁 生涯学習推進局 文化・スポーツ課 文化財保護グループ

電話：011-204-5749

FAX：011-232-1076

メール：kyoiku.bunka2@pref.hokkaido.lg.jp

ホームページ：<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/index.htm>

【表紙の写真】

伊達市北黄金貝塚は、縄文時代前期の貝塚を中心とする大規模な遺跡です。貝塚で発見されたお墓からは人骨もみつき、札幌医科大学による人類学的な調査研究が行われました。また、平成2年には国の史跡に指定され、平成12年から史跡公園として公開されています。毎年8月下旬には「だて噴火湾縄文まつり」が開催され、各種のイベントが行われています。北黄金貝塚の他、道内の函館市大船遺跡、森町鷺ノ木遺跡及び洞爺湖町入江貝塚・高砂貝塚と、北東北3県の縄文遺跡により構成される「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の世界遺産登録を目指しての取り組みは、15・16ページをご覧ください。



だて噴火湾縄文まつり（平成20年）

I 平成22年度文化財保護の主なあゆみ

○新指定の文化財

平成22年8月5日付けでえりも町の「襟裳岬（オンネエンルム）」、が名勝ピリカノカに追加指定されました。また、平成23年2月7日付けで遠軽町「瞰望岩（インカルシ）」及び豊浦町「カムイチャシ」が、さらに名勝ピリカノカに追加指定された他、函館市「垣ノ島遺跡」が、国指定史跡に指定されました。この他、天然記念物2件が道の天然記念物に指定され、国の登録文化財に8件が登録されました。

○世界遺産登録へ向けた取組

北海道・青森県・岩手県・秋田県が共同提案した「北海道・北東北を中心とする縄文遺跡群」が、平成21年1月5日にユネスコの世界遺産暫定リストに記載されました。4道県と関係12市町は、平成27年度前後の世界遺産委員会での審議に向け、平成21年度に引き続いて、推薦書案の作成や登録推進のための情報発信を実施しています。

○北海道文化財保護強調月間の取組

北海道教育委員会は関係機関5者と共同で、平成20年度に毎年10月8日～11月7日を北海道文化財強調月間に設定しました。この月間の設定は、道内にある貴重な文化財の価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えていくため、子どもたちや地域の人々が文化財に親しむ環境づくりの推進を目的としたものです。

平成22年度は月間期間中に、51市町で、展示会、指定文化財の一般公開、講演・講座や文化財に関連するイベントなど133事業が実施され、多くの方が参加しました。

○アイヌ民俗文化財の保存・伝承

アイヌ民俗文化財の伝承・活用事業を実施し、3冊の報告書を作成するとともにアイヌ用語学習講座を道内5会場で、アイヌの伝統的芸能に関する伝承講座などを道内4会場で実施しました。

○文化財の保存整備

北海道や市町村などが主体となって、国庫補助を活用した重要文化財の保存・修理や史跡整備などの文化財の保存整備事業を15件実施しました。

○埋蔵文化財の保護

埋蔵文化財については、工事や開発から保護するために114件の所在調査・試掘調査を実施し、開発計画の変更や、事前の発掘調査を求めるなどの調整を行いました。

埋蔵文化財の発掘調査は70件が実施されました。

この他にも、様々な取り組みを行っています。詳しくは、この年報をご覧ください。

1 新たに指定・登録された文化財

平成 22 年度は国の史跡に 1 件が新指定、名勝に 1 件（3 カ所）が追加指定され、また道の天然記念物に 2 件が指定されました。国の登録文化財には 8 件が登録されました。

●史跡

- ①函館市「垣ノ島遺跡」（平成 23 年 2 月 7 日付け）

●名勝

- ①ピリカノカ

えりも町「襟裳岬（オンネエンルム）」（平成 22 年 8 月 5 日付け）

遠軽町「瞰望岩（インカルシ）」（平成 23 年 2 月 7 日付け）

豊浦町「カムイチャシ」（平成 23 年 2 月 7 日付け）

●道指定天然記念物

- ①芦別市「空知大滝甌穴群」（平成 23 年 3 月 15 日付け）

- ②別海町「西別湿原ヤチカンバ群落地」（平成 23 年 3 月 15 日付け）

●登録文化財(有形文化財)

- ①札幌市「黒田家住宅主屋」

- ⑤小樽市「旧青山家別邸主屋」

- ②札幌市「黒田家住宅蔵」

- ⑥小樽市「旧青山家別邸文庫蔵」

- ③札幌市「黒田家住宅表門」

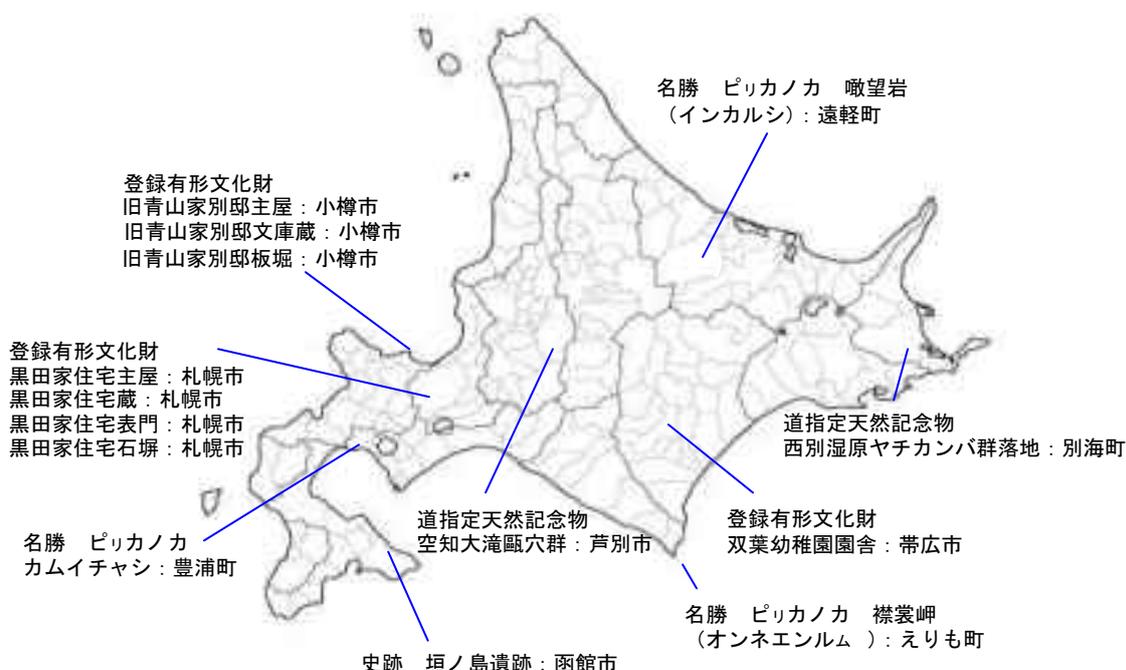
- ⑦小樽市「旧青山家別邸板塀」

- ④札幌市「黒田家住宅石塀」

- ⑧帯広市「双葉幼稚園園舎」

（いずれも平成 22 年 9 月 10 日付け）

新指定文化財の位置



史跡 垣ノ島（かきのしま）遺跡

【所在地】 函館市白尻町 406 番 1 ほか 【面積】 92,757.49m²

【解説】 函館市南茅部地区の海岸に臨む丘の上には縄文時代の遺跡が多数分布しています。そのなかでも垣ノ島遺跡には約 8,500 年前から約 3,500 年前までの非常に長い期間にわたる生活の跡が、南北約 500m・東西約 200m の広大な範囲にわたって残されており、史跡「大船遺跡」と並んでこの地域を代表する遺跡の一つとすることができます。

特に重視されるものとして、垣ノ島遺跡では縄文早期末（約 7,000 年前）の墓場と、縄文後期初め（約 4,500 年前）の「盛土遺構」が発見されています。

早期末の墓場からは 70 箇所を超える墓穴が見つかり、その一部からは粘土板に子供の足形を押し付けて焼きものとした「足形付土版」が合計 17 点出土しました。縄文人の子供への心づかいをしのばせる貴重な出土品として注目されています。

また後期初めの「盛土遺構」は、100×50m ほどの長方形の範囲を 1m ほど掘り下げ、その土を周囲の三方に高さ 2m、幅 25～30m ほどの規模で積み上げたもので、全体として長さ 120m・幅 100m に及ぶ「コ」の字形の盛土が現在も縄文時代当時とさほど変わらない姿で残っています。北海道・北東北の主要な縄文時代遺跡にはしばしば「盛土遺構」が伴いますが、垣ノ島遺跡のように規模が大きく形状もはっきりしたものは他に例がありません。

今後も垣ノ島遺跡からは縄文時代の歴史を理解するために多くの貴重な情報が得られることを期待できるので、函館市教育委員会ではさらに調査を進めるとともに、訪れた人に縄文時代の様子が理解できるよう史跡の整備を行う計画です。

【問い合わせ先】 函館市教育委員会文化財課 電話 0138-21-3472

ホームページ：http://www.city.hakodate.hokkaido.jp/board_of_edu/lifelong_learning/cultural_assets/

垣ノ島遺跡に残る「盛土遺構」
（遺跡西方上空から見る）



縄文早期末の墓から出土した「足形付土版」
（約 7,000 年前、左の土版の長さ約 17cm）

名勝 ピリカノカ

九度山（クトゥンヌプリ）	（名寄市）
黄金山（ピンネタイオルシペ）	（石狩市）
神威岬（カムイエトゥ）	（枝幸町・浜頓別町）
襟裳岬（オンネエンルム）	（えりも町）
瞰望岩（インカルシ）	（遠軽町）
カムイチャシ	（豊浦町）

【解説】 アイヌのユカラに謡われた物語・伝承の舞台をはじめ、カムイ（神）に対する祈りの場であるチノミシリの伝承地、アイヌ語により命名された独特の地形から成る土地などは、いずれも良好な自然の風致景観を成し、アイヌ語で「美しい・形」を意味する「ピリカノカ」と呼ぶに相応しい一群の景勝地を構成しています。

名寄市の「九度山（クトゥンヌプリ）」はアイヌ語で「岩崖がある山」の意味を持ち、名寄コタンのアイヌの人々にとって祈りの対象であったのみならず、狩猟を行う際の目印としての大切な山でもありました。

石狩市の「黄金山（ピンネタイオルシペ）」はアイヌ語で「樹叢の平原の中に聳える雄山（おやま）」の意味を持ち、ユカラに少年英雄として登場するポイヤウンペの拠点としての伝承を育んだ場所です。

枝幸町及び浜頓別町の「神威岬（カムイエトゥ）」はアイヌ語で「神の岬・突端」の意味を持ち、迫りに満ちたその偉容はカムイが宿る神聖な場所とされていました。

えりも町の「襟裳岬（オンネエンルム）」はアイヌ語で「大きな岬」の意味を持ち、日高山脈南端とその海域に点在する岩礁で構成されています。

遠軽町の「瞰望岩（インカルシ）」は比高約78mの岩塊から成り、アイヌの古戦場又は神祭の場と伝えられています。

豊浦町の「カムイチャシ」は噴火湾に突き出た茶津岬の南端に位置し、アイヌの神聖な祭場、海上の見張り台、防衛などの役割を持ったとされています。

このような、アイヌの物語・伝承、祈りの場、言語に彩られた優秀な景勝地群を、「美しい・形」を意味する「ピリカノカ」の下に保護することを目指して、芸術上・観賞上の価値のみならず学術上の価値が高い6カ所の景勝地が名勝に指定されました。

【所在地】

九度山（クトゥンヌプリ）：名寄市字日進、字智恵文

詳しい場所はこちら→[\(北の遺跡案内\)](#)のページから地図を表示します)

黄金山（ピンネタイオルシペ）：石狩市浜益区川下

詳しい場所はこちら→[\(北の遺跡案内\)](#)のページから地図を表示します)

神威岬（カムイエトゥ）：枝幸町目梨泊・浜頓別町斜内

詳しい場所はこちら→[\(北の遺跡案内\)](#)のページから地図を表示します)

襟裳岬（オンネエンルム）：えりも町字東洋・えりも岬

詳しい場所はこちら→([北の遺跡案内](#)のページから地図を表示します)

瞰望岩（インカルシ）：遠軽町西町

詳しい場所はこちら→([北の遺跡案内](#)のページから地図を表示します)

カムイチャシ：豊浦町字礼文華

詳しい場所はこちら→([北の遺跡案内](#)のページから地図を表示します)

【問い合わせ先】

名寄市北国博物館 電話01654-3-2575

ホームページ：<http://www.city.nayoro.lg.jp/www/contents/1252654277591/index.html>

いしかり砂丘の風資料館 電話0133-62-3711

ホームページ：<http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/content/000017555.pdf>

枝幸町オホーツクミュージアムえさし 電話 0163-62-1231

ホームページ：<http://www.town.esashi.hokkaido.jp/contents/museum/iseki/index.html>

浜頓別町教育委員会 電話 01634-2-2525

ホームページ：<http://www.town.hamatonbetsu.hokkaido.jp/>

えりも町郷土資料館・水産の館 電話 01466-2-2410

ホームページ：<http://www2.ocn.ne.jp/~horoizum/>

遠軽町教育委員会 電話 0158-42-2191

ホームページ：http://engaru.jp/kankou_info/engaru/ganbouiwa/ganbouiwa.html

豊浦町教育委員会 電話 0142-83-2239

ホームページ：<http://www.town.toyoura.hokkaido.jp/>



名寄市
九度山
(クトゥンヌプリ)



石狩市
黄金山
(ピンネタイオルシペ)



枝幸町・浜頓別町
神威岬 (カムイエトウ)



えりも町
襟裳岬
(オンネエングルム)



遠軽町
瞰望岩
(インカルシ)



豊浦町
カムイチャシ

道指定天然記念物 そらちおおたきおうけつぐん 空知大滝甌穴群（芦別市）



空知大滝と甌穴（岩盤のくぼみ）

【解説】空知大滝甌穴群は、芦別市滝里町空知川河川敷地、標高 111～118m 空知大滝の両岸に所在し、岩盤上に形成された大小様々な甌穴がみられます。その数は 64 か所（右岸 47 か所、左岸 17 か所）に達し、東西方向 220m、南北方向 77m の範囲に分布しています。甌穴の規模は最大のもので直径 3 m、深さ 1 m から、最小で直径 8 c m、深さ 6 c m のものがあります。



最大の甌穴（深さ 1 m）

比較的狭い範囲に大小様々な甌穴が集中し、内部に大小の円礫が多数含まれているものが多く、甌穴の成り立ちを考える材料がそろっていることから貴重であり、地質学上の価値が高いものです。

◆甌穴：川底や川岸の岩盤のくぼみの中で、小石などが、水流で転がりながら岩盤を削り、長い年月をかけて形成された穴です。

【所在地】

芦別市滝里町空知川河川敷

詳しい場所は [こちら](#)（[北の遺跡案内](#)）のページから地図を表示します）

【問い合わせ先】

芦別市教育委員会生涯学習課百年記念館管理係 電話 0124-24-2121

ホームページ：

http://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/educ_syogai/hkanri/bunkazai.html

道指定天然記念物 西別湿原ヤチカンバ群落地（別海町）



西別湿原



ヤチカンバ

【解説】西別湿原は別海町において現在まで残っている数少ない湿原のひとつで、西別川とその支流の測量川に挟まれた標高 30～40 メートルの低湿地です。ヤチカンバはカバノキ属ヒメカンバ節に属する低木性のカンバで、中国東北部、サハリンから北極周辺のツンドラ地帯に分布し、日本国内では、氷河期の遺存種と考えられています。国内でこれまでに確認された自生地は、昭和 38 年に道指定天然記念物となった更別村の更別湿原と、西別湿原

のヤチカンバ群落地のみで貴重であり、植物分類地理学上の価値が高いものです。

【所在地】

野付郡別海町別海 71 番地 3・6・25・26

詳しい場所は[こちら](#)（[北の遺跡案内](#)）のページから地図を表示します）

【問い合わせ先】

別海町教育委員会 電話 0153-75-2111（代表）

ホームページ：<http://betsukai.jp/blog/0001/index.php?ID=531>

登録有形文化財

黒田家住宅主屋、蔵、表門、石塀



黒田家住宅主屋



黒田家住宅蔵



黒田家住宅表門



黒田家住宅石塀

【解説】札幌市街に建つ住宅で、主屋は屋根の南北に腰折れ屋根の妻面を見せるほかドーマーウィンドウを要所に飾り、変化に富む外観をつくります。蔵は札幌軟石風のコンクリートブロック造で重厚な佇まいを示し、敷地周囲には表門や石塀を廻らしています。大正12年の市電開通に伴う市街化初期の住宅の構えをよくとどめています。

【年代】主屋・蔵：大正15年、表門・石塀大正15年～昭和10年代

【所在地】札幌市中央区南13条西7丁目

【問い合わせ先】札幌市観光文化局文化財課 電話：011-211-2312

ホームページ：<http://www.city.sapporo.jp/shimin/bunkazai/index.html>

登録有形文化財

旧青山家別邸主屋、文庫蔵、板塀



旧青山家別邸主屋



旧青山家別邸文庫蔵



旧青山家別邸板塀

【解説】青山家は鯨漁で財をなした家で、施主と同郷になる山形県出身の大工が棟梁を務めました。主屋は東西に玄関をもつ風格ある構えで、内部も春慶塗や銘木を用いるなど贅を凝らしています。文庫蔵や長い板塀などの屋敷構えが残り、鯨漁の繁栄を現代に伝える建築物です。

【年代】大正12年

【所在地】小樽市祝津3-63

詳しい場所は[こちら\(北の遺跡案内\)](#)のページから地図を表示します)

【問い合わせ先】小樽市総合博物館 電話：0134-33-2523

登録有形文化財
双葉幼稚園園舎



【解説】木造の幼稚園園舎で、三角の小屋根を配したドーム屋根を戴く八角形の遊戯室を中央に配し、残りの各四隅に教室が付いています。二代目園長が自ら設計にあたり、その幼児教育への考え方により、独特の空間が創出されています。

【年代】大正11年（昭和29年年改修）

【所在地】帯広市東4条南10丁目1、9

詳しい場所は[こちら](#)（[北の遺跡案内](#)のページから地図を表示します）

【問い合わせ先】帯広市教育委員会生涯学習部文化課 電話：0155-65-4209

ホームページ：

http://www.city.obihiro.hokkaido.jp/shougaigakusyubu/bunnkaka/a32_shiseki_top.jsp

3 世界遺産登録を目指して

平成 21 年 1 月 5 日、「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」を含む国内の 3 件の文化遺産がユネスコ世界遺産センターの管理する「世界遺産暫定一覧表」（世界遺産候補となる各国資産のリスト）に記載されたことは 21 年度の年報で紹介したとおりです。

北海道と北東北 3 県は、平成 21 年 6 月に 4 道県と関係する 12 市町の首長と教育長で構成する「縄文遺跡群世界遺産登録推進本部」を設置し、平成 22 年度も登録推進のための事業を継続しました。また、北海道教育委員会においても昨年度に続き独自に登録推進のための情報発信事業を行いました。

(1) 世界遺産登録に向けた体制と事業について

平成 21 年 6 月 1 日、青森・岩手・秋田の 3 県と北海道の知事が締結した協定により「縄文遺跡群世界遺産登録推進本部」が設置されました。協定に基づき「本部」が行う主な事業は 2 つあります。

第一は「世界遺産登録推薦書案」の作成です。「暫定一覧表」に記載された物件が世界遺産登録にふさわしいかどうかの審査を受けるためには、日本政府がユネスコ世界遺産センターに「登録推薦書」を提出しなければなりません。そこで関係自治体が主体的に推薦書の案を準備し、推薦の条件を整えようとするものです。

第二は登録推進のための普及啓発、国際的合意形成です。政府の推薦を受けるためには日本を代表する文化遺産の一つとして広く国内の支持を得る必要があります、また登録の実現にはそれを妥当とするだけの国際的な評価を得なければなりません。そこで広報資料の作成や説明会の開催などを通じて、国内外に縄文遺跡群の「顕著な普遍的価値」を発信していくようにするものです。

「本部」のもとには各自自治体の文化財担当課長などで組織する「縄文遺跡群世界遺産登録推進会議」と考古学や文化財学などの専門家による「縄文遺跡群世界遺産登録推進専門家委員会」が設置され、それぞれ事業の円滑な実施と専門的な事項の調査・検討を行っています。平成 22 年度には推進会議と専門家委員会を各 3 回開催し、推薦書案の作成を進めたほか、フランス（パリ）での縄文文化説明会、海外の専門家を青森・秋田県に招いての意見交換（文化庁との共催）などを実施しました。

(2) 北海道の独自事業について

平成 14 年の北海道・北東北知事サミットにおける北海道知事の提案に基づき、北海道は平成 16 年度から縄文文化を核にした地域間交流を行う「北の縄文文化回廊づくり」事業を青森・岩手・秋田の 3 県とともに進めてきました。暫定一覧表への記載実現はこの取組みの基盤のうえに実現したものであり、昨年度以降の登録推進にあたっては北海道教育委員会は知事部局と連携しながら道内の気運を高めるための事業を実施しています。平成 22 年度は縄文遺跡群の概要と登録推進事業を紹介する「北の縄文・パネル展」を 10 月に札幌市、11・12 月に網走市で開催し、縄文遺跡群の重要性を紹介することに努めました。

さらに北海道教育委員会では、一般の方々の縄文文化への理解を促進するため、縄文文

縄文遺跡群を視察する国際記念物遺跡会議
(ICOMOS) 所属の専門家
(平成 22 年 9 月 10 日、秋田県鹿角市の特別
史跡大湯環状列石で)



札幌市で開催されたフォーラムの様
(平成 23 年 2 月 5 日、かでの 2・7 で)

化の研究に実績のある講師が参加者とともに縄文遺跡群の特徴と価値を考えるフォーラム「北海道縄文の四季」を平成 23 年 2 月に札幌市で開催しました。

以上の登録推進事業については北海道教育委員会のウェブサイト内で報告し、今後の予定についても紹介しておりますのでご参照ください。

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/wh.htm>

(3) 「北海道東部の窪みで残る大規模竪穴住居跡群」について

平成 19 年 9 月、北海道は北見市、標津町とともに「北海道東部の窪みで残る大規模竪穴住居跡群」を世界遺産暫定一覧表に記載するよう文化庁に提案しましたが、現状では世界遺産としての「顕著な普遍的価値」の証明が難しいとして記載は見送られました。この資産の評価については文化庁「文化財オンライン」内「暫定一覧表記載資産の追加について」などをご覧ください。

http://bunka.nii.ac.jp/jp/world/h_14.html

平成 22 年度には資産を構成する史跡標津遺跡群の発掘調査により遺跡内容の理解が進展し、また史跡常呂遺跡（北見市）では常呂市街に隣接するトコロチャシ跡地区の整備方針の検討が進みました。この資産の世界遺産登録推進のためには、二つの史跡の調査や整備に加え、同様な資産を有する他の市町村とも連携しながら道北・道東に及ぶ大規模な竪穴住居跡群の調査研究を行い、海外の類似の遺跡とも比較しながらその価値を明らかにする作業が必要であり、北海道教育委員会としても息の長い取り組みを続けていきたいと考えています。

4 文化財保護強調月間について

「北海道文化財保護強調月間」は、平成20年度に毎年10月8日～11月7日の期間を、北海道教育委員会をはじめ、札幌市、北海道都市教育委員会連絡協議会、北海道町村教育委員会連合会、北海道文化財保護協会、北海道博物館協会の6者により共同で、設定したものです。

この月間の設定は、道内にある貴重な文化財の価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えていくため、子どもたちや地域の人々が文化財に親しむ環境づくりの推進を目的として、月間期間中に、各市町村教育委員会や道内の博物館等の協力により、文化財公開・活用事業（指定文化財の一般公開や文化財に関連する事業）を実施するものです。

平成22年度は、第3回目として、展示会、指定文化財の一般公開、講演・講座、シンポジウムなど、文化財に関連するイベントが、51市町で133の事業が実施されました。また、北海道教育委員会では、10月23日～29日に道庁ロビーなどで「世界遺産をめざして-北の縄文・パネル展2010」（北海道と共催）を開催し、多くの皆様にご来場頂きました。

なお、第3回北海道文化財保護強調月間ポスターには、平成21年度に開催されたイベント等の写真を一部掲載しました（函館市北方民族資料館「アイヌ文様刺しゅう教室」、妹背牛町「獅子舞」、厚真町「昔の農機具体験」、森町「森町の遺跡展」）。

今後も、様々なかたちで、児童・生徒の皆さんに、そして、広く道民の方々に文化財を身近に親しんでいただく機会づくりを、市町村教育委員会等の協力を得ながら、取り組めます。



・文化財保護強調月間について→

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/kyoutyougekkkan.htm>

「北海道文化財保護強調月間」の設定の趣旨

私たちの郷土・北海道には、豊かな自然や北国の風土の中で育まれてきた縄文時代の遺跡やアイヌの人たちの伝統的な文化をはじめ、全国各地からの移住や北海道開拓によりもたらされた多様な文化財が数多く残されています。

これらの文化財は、本道の歴史や文化を理解する上で欠くことのできないものであり、現代を生きる私たちに、先人の知恵と技を伝え、日々の暮らしに精神的な豊かさや潤いをもたらす道民の貴重な共有財産です。

しかし、一方で、長い歴史の中で受け継がれてきた文化財の中には、社会構造の変化や少子・高齢化の進行などに伴い、保存や伝承が困難となっているものもあるため、文化財に対する親しみや理解を深めながら、次世代に確実に守り伝えていくことが、いま、課題となっています。

私たち6団体は、市町村教育委員会や関係団体の皆様方と連携協力し、道民の方々が文化財に親しむ環境づくりを推進するとともに、貴重な文化財を地域全体で継承していくため、国の「文化財保護強調週間」や「北海道教育の日」との連動を図り、新たに、毎年10月8日から11月7日までを「北海道文化財保護強調月間」として設定することをここに宣言します。

平成20年7月17日



小樽市旧手宮鉄道施設

(機関車庫三号の修理工事パネル展)



妹背牛獅子舞

(妹背牛町総合文化祭での発表)



子どもの文化財愛護活動推進事業
「栗山の縄文世界」

(写真提供：北海道文化財保護協会)



世界遺産をめざして
-北の縄文・パネル展 2010-

5 アイヌ民俗文化財の保存・伝承

北海道の貴重な文化的所産であるアイヌ文化は、伝承者の高齢化などにより世代間の伝承が難しい現状にあり、記録等を行うことが困難となる可能性があります。このため、北海道教育委員会は、アイヌの人たちの諸文化を調査・記録するとともに、地域の伝承活動を支援し、貴重なアイヌ文化を次世代に継承するため、様々な事業を行っています。

(1) アイヌ民俗文化財調査

アイヌ民俗文化財に関わる次の2件の調査事業等を行い、報告書を刊行しました。報告書はアイヌ文化に関係する道内外の研究機関及び大学図書館、主要な公立図書館等に配布し、活用を図りました。

① アイヌ民俗文化財に関する調査事業

北海道内に伝承されている代表的なアイヌ民俗技術に関する詳細調査を行い、その成果を次の報告書として刊行しました。

- ・『平成22年度アイヌ民俗文化財調査報告書（アイヌ民俗技術調査3）〈詳細調査〉』（A4判80p.）

② 金成(かんなり)マツノート整理・翻訳、刊行事業

ユーカラ等の口承文芸をローマ字で記録した伝承者・^{かんなり}金成マツのノートを整理・翻訳し、その成果を次の3冊の報告書として刊行しました。

- ・ユーカラシリーズ37『アイヌ英雄叙事詩「赤海亀になる」』（B5判151p.）蓮池悦子訳
- ・ユーカラシリーズ38『アイヌ英雄叙事詩「背鰭長の鯨」』（B5判140p.）高橋靖以・切替英雄訳
- ・ユーカラシリーズ39『アイヌ英雄叙事詩「薄い金、裂けた金」』（B5判112p.）萱野志朗訳

(2) アイヌ民俗文化財保存・伝承活動事業

アイヌ文化への理解を促進し、アイヌ民俗文化財を保存・伝承するため、基本的な生活用語や伝統的な風俗習慣及び民俗芸能を学ぶことを目的とした次の事業を実施しました。

- ① アイヌ文化を理解するための基本的なアイヌ用語学習講座：道内5会場(延べ46講座、延べ参加人員613人)
- ② アイヌの伝統的有形、無形の風俗習慣に関する伝承講座：道内4会場(延べ20講座、延べ参加人員150人)
- ③ アイヌの伝統的芸能に関する伝承講座：道内4会場(延べ20講座、延べ参加人員382人)



アイヌ古式舞踊練習風景

6 指定文化財の保存整備(国庫補助事業)

指定文化財の保護・保存をはかるため、北海道教育委員会・市町村教育委員会などが主体となって国庫補助を活用し、重要文化財の建物や、縄文時代の漆製品などの保存や修理、史跡・名勝の保全などの事業を行いました。

種別	名称	事業内容	事業者
重要文化財	上國寺(じょうこくじ) 本堂	上國寺は宝暦8年(1758)に建てられた浄土宗のお寺で、北海道では数少ない18世紀にさかのぼる建築物です。経年劣化による損傷が大きく、平成20年度から修理事業を実施しています。平成22年度は、基礎工事、屋根工事(こけら葺き)、板戸などの建具工事を主に実施し、構造補強などの木工時も行われました。工事は平成23年度まで継続する予定です。	上國寺 (上ノ国町)
重要文化財	函館ハリストス正教会復活聖堂	函館ハリストス教会復活聖堂は大正5年に建てられ、日本ハリストス正教会発祥の地に建つ由緒をもち、小規模ながら正教会復活聖堂の標準的な構成によるレンガ造の本格建築です。平成22年度は部分修理として、外壁の漆喰壁塗り直し、塗装工事と、内部至聖所の壁・天井の化粧直しです。	ハリストス正教会
重要文化財	旧旭川偕行社	旧旭川偕行社は、明治35年に旧陸軍第七師団の倶楽部施設として建設され、現在は「中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館」として利用されています。平成22年度は耐震診断調査として、建物及び地盤の調査並びに構造診断、補強方法の検討が行われました。	旭川市
重要文化財	カリンバ遺跡墓坑(ぼこう)出土品	カリンバ遺跡墓坑出土品は恵庭市カリンバ遺跡の縄文時代のお墓から出土した漆製品などの副葬品です。22年度は、漆塗り櫛7点、腕輪5点、腰飾り帯1点の修理を行い、保存箱5点を製作しました。	恵庭市
重要文化財	蝦夷三官寺善光寺(えぞさんかんじぜんこうじ)関係資料	善光寺は、蝦夷地で死亡した武士、商人や出稼ぎ人などの供養及び邪宗門禁制のため、江戸時代に建立されました。22年度は、紙本墨書「公案」1点の修理及び重要文化財の収納具2点の製作を行いました。	善光寺 (伊達市)

指定文化財の保存整備



屋根工事（こけら葺き）



屋根工事（完了部分）

上國寺本堂



外壁工事



竣工後



外観



構造診断か所

函館ハリストス正教会復活聖堂

旧旭川借行社



収蔵庫内部

蝦夷三官寺善光寺



種 別	名 称	事 業 内 容	事業者
特別史跡	五稜郭跡	五稜郭は箱館奉行所の防御施設として元治元年(1864)に完成し、日本の建築・土木技術の伝統と西欧の城塞設計の思想が合流した特色ある城郭です。 平成 18 年度に着手した奉行所庁舎の復元整備工事が完了し、7 月から公開されました。郭内の環境整備も 22 年度中に完了し、見学者の便益が大きく向上しました。	函館市
史 跡	松前氏城跡 福山城跡	福山城は松前城とも呼ばれ、安政元年(1854)に完成した我が国最北の城です。外国船対策(海防)を目的とした台場が城内外にありました。 22 年度は堀廻り地区整備のための調査を継続し、史跡内にある光善寺庭園の測量・発掘調査にも着手しました。	松前町
史 跡	最寄(もよろ)貝塚	最寄貝塚は網走川河口左岸の砂丘上にあり、5~10 世紀頃に栄えたオホーツク文化を代表する遺跡の一つです。 22 年度は新ガイダンス施設・遺構展示施設等の実施設計を行いました。現在の最寄貝塚館は 22 年度末で閉館し、23 年度に新施設の建設が始まる予定です。	網走市
史 跡	上之国館跡 (かみのくにたてあと)	上之国館跡は 16 世紀頃に築かれた勝山館跡・洲崎館跡・花沢館跡をあわせて平成 18 年に追加・統合指定されたものです。 22 年度は勝山館跡で旧道や物見跡とされる場所の発掘調査と搦手(からめて)柵の復元整備、洲崎・花沢館跡では標柱の設置を実施しました。	上ノ国町
史 跡	琴似屯田兵村兵屋(へいそんへいおく)跡	琴似屯田兵村は明治 8 年(1875)に設けられた最初の兵村で、学校や練兵場の他に 208 戸の兵屋が作られました。一戸の兵屋の敷地は 150 坪、農地は 5000 坪ありました。史跡内にある兵屋は昭和 46 年に復元修理されたあと再び老朽化が進んだため、22 年度に修理工事を実施し、あわせて保存管理施設や消火栓の修理も行いました。	札幌市
史 跡 天然記念物	標津遺跡群 標津湿原	標津遺跡群は縄文時代からアイヌ文化期にかけての竪穴住居跡やチャシ跡が確認されています。また、標津湿原は標津川下流とポー川に挟まれた地域にあり、エゾゴゼンタチバナなど 80 種類の湿原植物が生育しています。 22 年度も広大な伊茶仁(いちやに)カリカリウス遺跡の内容を確認するための発掘調査と、湿原の水位を回復するた	標津町

		めの排水溝止水工事、水位調査を継続しました。さらに過去 30 年間にわたる整備事業の成果を取りまとめた報告書を刊行しています。	
天然記念物	春採湖ヒブナ生息地	昭和 12 年に国指定天然記念物に指定された釧路市春採湖において、今後のヒブナの保全に向けた基礎資料の整備を目的として、生育状況、繁殖実態、水生植物の生育状況、外来種による食害などの各種調査を実施しました。	釧路市

特別史跡五稜郭跡
復元整備、公開された
箱館奉行所庁舎



天然記念物標津湿原
地下水位回復にむけた水位調査（右上）と
止水用土嚢の搬入（左下）



種 別	名 称	事 業 内 容	事業者
重要伝統的 建造物群	函館市元町末 広町重要伝統 的建造物群保 存地区	函館市元町末広地区は旧外国公館や寺院・教会、レンガ造の倉庫群、上下和洋折衷の町家などが建ちならび、異国情緒の濃い町並みを形成しています。 この歴史的な町並みを大切に守るため、選定となった平成元年度から建築物所有者の理解と協力を得ながら、伝統的建造物の修理、一般建築物の修景、環境物件の復旧などを継続的に行っています。平成 22 年度は、高田屋嘉兵衛資料館 1 号主屋など 4 件の修理事業を実施しました。	函館市
重要文化的 景観	アイヌの伝統 と近代開拓に よる沙流川流 域の文化的景 観	「アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観」は、アイヌ文化の諸要素を現在に至るまでとどめながら、開拓期以降の農林業に伴う土地利用がその上に展開することによって、多文化の重層としての様相を示す極めて貴重な文化的景観です。 平成 23 年度は、現地説明会や特別展の開催、文化的景観見どころマップの配布を行いました。	平取町

函館市元町末広町伝統的建造物群保存地区



高田屋嘉兵衛資料館 1 号主屋（修理後）

平取町重要文化的景観
チセの修景



◆チセはアイヌ語で家のことです。このチセは地域のアイヌ文化振興に活用される場であり、建築技術を継承する意味もあります。

7 埋蔵文化財保護のための事前協議

土木工事などによって土地を掘り返すと、土地に埋まっている文化財（埋蔵文化財）を破壊してしまうことがあります。

このような破壊を避けるため、開発・建設などの事業者と北海道・市町村の教育委員会とが前もって協議をおこない、工事が埋蔵文化財に影響を与えるかどうかを判断したうえ、できるかぎりの調整をおこなっています。これを「埋蔵文化財保護のための事前協議」と呼びます。

工事の前に、まず予定地を歩いて文化財の有無などを確かめることを「所在調査」と呼びます。計画中の工事などが埋蔵文化財に影響を与えるかどうか判断する目的で、実際に一部を掘って、文化財の有無・深さ・内容などを調べることを「試掘調査」と言います。

北海道教育委員会ではこのような開発や工事から埋蔵文化財を保護するため、6,665,124ha について所在調査を、215,112ha について試掘調査を実施し、開発計画の変更や事前の発掘調査を求めるなどの調整を図りました。

埋蔵文化財保護のための事前協議の流れ（概要）

① 工事や開発を計画 

②  埋蔵文化財包蔵地（遺跡）の分布状況を調べます

※北海道ではインターネットで遺跡分布図を公開しています

【北の遺跡案内】 <http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/kitanoisekiannai.htm>

- ・周知の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）内や隣接地での工事の場合
- ・土砂採取、ゴルフ場建設などの1haを超える大規模な開発行為の場合

③  埋蔵文化財保護のための事前協議書提出(工事等の計画者→市町村→道教委へ)

④ 所在調査（市町村・北海道教育委員会実施）



遺跡がありそうな地形かどうか判断します。
(川や海のそばの高台は特に要注意！)

土器・石器などが落ちていないか
実際に現地を歩いてみて調査します。



→遺跡が所在しない場合は着工



⑤ 試掘調査 (市町村・北海道教育委員会実施)



重機・スコップなどで地面を掘ってみます。

掘った土の中に土器・石器等があるか
調べます。 ↓



昔の家(竪穴住居)やお墓の跡があるか調べます。 (出土した土器、約 2000 年前のもの)
(中央の黒い土のシミが、縄文時代の穴の跡)



→遺跡が所在しない場合は着工可

⑥ 試掘調査の結果と工事の内容から、どのような保護が必要か判断します。
(北海道教育委員会など)

- (1)現状保存 工事計画を変更して遺跡を保存する。
- (2)発掘調査 工事の前に発掘調査を行う。
- (3)工事立会 工事の際に市町村・北海道教育委員会職員が立ち会う。
- (4)慎重工事 遺跡に影響の少ない工事を行う。



⑦ 工事等の計画者に文書でお知らせします。

8 埋蔵文化財の保護(国庫補助事業)

開発が予想される地域の埋蔵文化財の所在・範囲などを明らかにし、埋蔵文化財を保護するため、市町村教育委員会が主体となって国庫補助を活用し、発掘調査や分布調査などを行いました。

種別	名称	事業内容	事業者
埋蔵文化財	町内遺跡	開発行為が予想される9カ所の所在調査、5カ所の試掘調査を実施しました。	美幌町
埋蔵文化財	町内遺跡	縄文時代の環状列石がある史跡鷲ノ木遺跡の広がりを確認するために実施した試掘調査により、縄文時代の土器・石器等が出土しました。また、環状列石の保存処理に関する調査を行いました。	森町
埋蔵文化財	町内遺跡	幕末に急ぎょ作られた松前藩の城である館城の堀・柵列などの残り具合を確認するため発掘調査を実施しました。調査の結果、西辺の堀・柵列は現在の町道とほぼ並行することが確認されました。	厚沢部町
埋蔵文化財	市内遺跡	開発行為が予想される9カ所の所在調査と、22カ所の試掘調査を行って事業者との調整を図り、調査結果をまとめた報告書を作成しました。	札幌市
埋蔵文化財	町内遺跡	史跡福山城の石垣石を切り出した神明石切り場跡や史跡大館跡周辺等の試掘調査を実施しました。調査の結果、切り石を運び出した「石曳き道」・礎石・石垣・土塁等、江戸時代の遺構・遺物や、中世の中国製陶磁器が確認されました。	松前町
埋蔵文化財	市内遺跡	開発行為が予想される1カ所の試掘調査を行い、事業者との調整を図りました。また、1地区の分布調査を行い新たに8カ所の遺跡を確認しました。これらのうち1カ所の遺跡から縄文時代の落とし穴が確認されました。	苫小牧市
埋蔵文化財	市内遺跡	史跡北黄金貝塚の北に隣接する遺跡の広がりを確認するための試掘調査を実施しました。調査の結果、縄文時代前期の盛土遺構・土坑墓・貝塚等が確認されました。	伊達市
埋蔵文化財	町内遺跡	縄文時代の貝塚がある国指定史跡入江・高砂貝塚の範囲や内容を確認するための試掘調査を実施しました。調査の結果、縄文時代後期の遺物等が確認されました。	洞爺湖町
埋蔵文化財	市内遺跡	住宅建設に先立って、遺跡の発掘調査を実施しました。調査の結果、縄文時代中期から後期の住居跡・住居類似遺構3軒、土坑13基等が確認されました。	江別市

埋蔵文化財	埋蔵文化財保存活用	高規格道路建設に伴う発掘調査などで出土した大量の石器を展示し、保存・活用を推進するために 21 年度から実施していた埋蔵文化財センター整備工事が 22 年度に完成しました。また、保管する石器の再分類・再収納・広報資料の製作等を行いました。	遠軽町
埋蔵文化財	埋蔵文化財保存活用	町内の縄文遺跡に関する展示を行い、関連する講演会を実施したほか、縄文文化や森町の遺跡を紹介するパンフレットを作成しました。	森町
埋蔵文化財	埋蔵文化財保存活用	平成 20・21 年度に移転整備を行った千歳市埋蔵文化財センターで収蔵資料の常設展・企画展を開催し、関連する講演会や体験学習会を実施しました。このほか、施設を紹介するパンフレットを作成しました。	千歳市



伊達市 貝塚の発掘調査状況



洞爺湖町出土の縄文土器



松前町 建物の礎石の検出状況

9 発掘調査

平成 22 年度は北海道内で 70 件、73,983 m²の発掘調査が実施されました。内訳は次のとおりです。

調査主体	件数	調査面積
市町村教育委員会	40	38,346 m ²
財団法人北海道埋蔵文化財センター	15	30,235 m ²
大学・博物館等	15	5,402 m ²

オホーツク文化の調査（枝幸町 目梨泊遺跡）



枝幸町と浜頓別町にまたがる名勝ピリカノカ〔神威岬〕（カムイエトゥ）を望む目梨泊遺跡では、オホーツク人の生活の跡が調査され、オホーツク式土器や石器、骨角器などのほか、大陸からもたらされたと思われる鉄製の「まがりてとうす曲手刀子」も出土しています。

縄文時代の石鏃と炭化した矢柄（恵庭市 ユカンボシE11 遺跡）



炭化矢柄：左 3 点は矢筈部分

ユカンボシE11 遺跡では、縄文時代中期前葉の竪穴住居跡から 18 個の黒曜石製のやじり鏃とともに、炭化したやがら矢柄が検出されました。矢柄の端には弓のつる弦につがうためのV字状の切り込み（やはず矢筈）や矢羽根を巻きつけた痕跡もみられます。素材はノリウツギです。

平成 22 年度の発掘調査の概要は、下記の URL でご覧ください。

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/h22gaiyou.htm>

Ⅱ 資料編

1 文化財

(1)文化財の指定状況(国指定・道指定)

国 道	区 分	種 別	地域を定めず	空	石	後	胆	日	渡	檜	上	留	宗	オ	十	釧	根	国	計	
				知	狩	志	振	高	島	山	川	萌	谷	ホ	ソ	路	室	保		
国	指 定	国宝							1										1	
		重要文化財			13	3	3	1	13	5	1	2	1		1	2			5	50
		重要無形文化財																		0
		重要有形民俗文化財			1			1	1			1								4
		重要無形民俗文化財			1															1
		特別史跡								1										1
		史跡		1	8	6	6	1	10	2		1		4	2	6	3			50
		名勝			※1		※1	※1	1		1		※1	1 <small>前</small>						3
		特別天然記念物	1		1		1	1			1						1			6
		天然記念物	14	2	2	2	1	2	2	2	2	2		1	1	5	3			41
		小計	15	3	26	11	11	6	29	9	5	6	1	6	4	14	6	5		157
選 定	重要伝統的建造物群保存地区								1										1	
	重要文化的景観						1												1	
	小計	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
登 録	有形文化財（建造物）		24	20	14	6	1	9	1	10		2	6	7	1	8			109	
	記念物							1											1	
	小計	0	24	20	14	6	1	10	1	10	0	2	6	7	1	8	0		110	
道	指 定	有形文化財		3	6	5	4	1	32	7		2	3	2	4	2	3		74	
		有形民俗文化財			2				1	3									6	
		無形民俗文化財							2	5									7	
		史跡		1		3	2	2	4	1	1		2	5	4	1			26	
		名勝									1			1					2	
		天然記念物		5			1	1	2	1	1		5	5	7	1	4		33	
		小計	0	9	8	8	7	4	41	17	3	2	10	13	15	4	7	0	148	
合 計			15	36	54	33	24	12	81	27	18	8	13	25	26	19	21	5	417	

※国指定名勝の※印は指定件数が1件のため計、小計に加算していない。

・北海道の文化財→<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/bun-hogo.htm>

(2) 国指定文化財一覧

国指定文化財とは、文化財保護法に基づき、文化審議会の答申を受けて、文部科学大臣が指定して保存を図る文化財です。

〔国宝〕

(平成 23 年 3 月 31 日現在)

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	土偶（北海道函館市著保内野遺跡出土）	函館市	H19. 6. 8

〔重要文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	太刀 銘国俊	札幌市	S8. 1. 23
2	八窓庵（旧舎那院忘筌）	札幌市	S11. 9. 18
3	福山城（松前城）本丸御門	松前町	S16. 5. 8
4	紙本墨書後鳥羽天皇宸翰熊野懷紙（山路眺望暮里神楽）	帯広市	S25. 8. 29
5	刀 無銘伝来国行	札幌市	S31. 6. 28
6	土偶（北海道室蘭市輪西町出土）	室蘭市	S37. 6. 21
7	豊平館	札幌市	S39. 5. 26
8	木造大日如来坐像（本堂安置）	函館市	S42. 6. 15
9	北海道庁旧本庁舎	札幌市	S44. 3. 12
10	旧日本郵船株式会社小樽支店	小樽市	S44. 3. 12
11	北海道大学農学部（旧東北帝国大学農科大学）第二農場	札幌市	S44. 8. 19
12	旧札幌農学校演武場（時計台）	札幌市	S45. 6. 17
13	旧三戸部家住宅	伊達市	S46. 12. 28
14	旧花田家番屋	小平町	S46. 12. 28
15	旧下ヨイチ運上家	余市町	S46. 12. 28
16	旧中村家住宅	江差町	S46. 12. 28
17	太刀川家住宅店舗	函館市	S46. 12. 28
18	人形装飾異形注口土器(北海道上磯郡上磯町茂辺地出土)	北斗市	S48. 6. 6
19	旧函館区公会堂	函館市	S49. 5. 21
20	動物形土製品（北海道千歳市美々第四遺跡出土）	千歳市	S54. 6. 6
21	函館ハリストス正教会復活聖堂	函館市	S58. 6. 2
22	土面（北海道千歳市真々地町ママチ遺跡第三一〇号土壙墓出土）	千歳市	S63. 6. 6
23	旧旭川偕行社	旭川市	H1. 5. 19
24	北海道大学農学部植物園・博物館	札幌市	H1. 5. 19
25	北海道美利河 1 遺跡出土品	今金町	H3. 6. 21
26	北海道湯の里 4 遺跡土壙出土品	知内町	H3. 6. 21
27	龍雲院	松前町	H4. 1. 21

28	旧笹浪家住宅	上ノ国町	H4. 1. 21
29	正行寺本堂	厚岸町	H4. 1. 21
30	法源寺山門	松前町	H5. 4. 20
31	上國寺本堂	上ノ国町	H5. 4. 20
32	北海道江別太遺跡出土品	江別市	H5. 6. 10
33	北海道元江別1遺跡土壙墓出土品	江別市	H7. 6. 15
34	北海道コタン温泉遺跡出土品	八雲町	H9. 6. 30
35	北海道目梨泊遺跡出土品	枝幸町	H12. 6. 27
36	遺愛学院（旧遺愛女学校） 旧宣教師館 本館	函館市	H13. 6. 15 H16. 12. 10
37	旧手宮鉄道施設	小樽市	H13. 11. 14
38	北海道志海苔中世遺構出土銭	函館市	H15. 5. 29
39	旧本間家住宅	増毛町	H15. 12. 25
40	北海道有珠モシリ遺跡出土品	伊達市	H16. 6. 8
41	北海道有珠モシリ遺跡出土品	伊達市	H16. 6. 8
42	箱館奉行所文書	札幌市（北海道立 文書館）	H16. 6. 8
43	北海道美々8遺跡出土品	江別市（北海道立埋 藏文化財センター）	H17. 6. 9
44	蝦夷三官寺善光寺関係資料	伊達市	H17. 6. 9
45	蝦夷三官寺等澗院関係資料	様似町	H17. 6. 9
46	蝦夷三官寺国泰寺関係資料	厚岸町	H17. 6. 9
47	北海道カリンバ遺跡墓坑出土品	恵庭市	H18. 6. 9
48	銀板写真（松前勘解由と従者像）附添状	松前町	H18. 6. 9
49	大谷派本願寺函館別院	函館市	H19. 12. 4
50	北海道上之國勝山館出土品	上ノ国町	H20. 7. 10

※国保有重要文化財（No.7・19 東京国立博物館保管、No.23 北海道立埋藏文化財センター、No.34 江別市郷土資料館、No.41 伊達市教育委員会）

〔重要有形民俗文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	アイヌのまるきぶね	札幌市	S32. 6. 3
2	アイヌの生活用具コレクション	函館市	S34. 5. 6
3	留萌のニシン漁撈（旧佐賀家漁場）用具	留萌市	H7. 12. 26
4	北海道二風谷および周辺地域のアイヌ生活用具コレクション	平取町	H14. 2. 12

〔重要無形民俗文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	アイヌ古式舞踊	白老町・平取町・新ひだか町・旭川市 浦河町・帯広市・釧路市・札幌市・千歳市 むかわ町・日高町・新冠町・様似町 弟子屈町・白糠町	S59. 1. 21

〔特別史跡〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	五稜郭跡	函館市	S27. 3. 29

〔史 跡〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	手宮洞窟	小樽市	T10. 3. 3
2	四稜郭	函館市	S9. 1. 22
3	東蝦夷地南部藩陣屋跡 モロラン陣屋跡 ヲシャマンベ陣屋跡 砂原陣屋跡	室蘭市 長万部町 森町	S9. 5. 1 S49. 8. 22 S49. 8. 22
4	志苔館跡	函館市	S9. 8. 9
5	松前氏城跡 福山城跡 館城跡	松前町 厚沢部町	S10. 6. 7 H14. 9. 20
6	モシリヤ砦跡	釧路市	S10. 12. 24
7	春採台地竪穴群	釧路市	S10. 12. 24
8	鶴ヶ岱チャランケ砦跡	釧路市	S10. 12. 24
9	桂ヶ岡砦跡	網走市	S10. 12. 24
10	最寄貝塚	網走市	S11. 12. 16
11	フゴッペ洞窟	余市町	S28. 11. 14
12	音江環状列石	深川市	S31. 12. 28
13	忍路環状列石	小樽市	S36. 3. 10
14	松前藩戸切地陣屋跡	北斗市	S40. 3. 18
15	白老仙台藩陣屋跡	白老町	S41. 3. 3
16	開拓使札幌本庁本庁舎跡および旧北海道庁本庁舎	札幌市	S42. 12. 15
17	東釧路貝塚	釧路市	S45. 7. 22
18	旧下ヨイチ運上家	余市町	S48. 7. 31
19	国泰寺跡	厚岸町	S48. 10. 29
20	常呂遺跡	北見市	S49. 3. 12
21	善光寺跡	伊達市	S49. 5. 23

22	標津遺跡群 伊茶仁カリカリウス遺跡 古道遺跡 三本木遺跡	標津町	S51. 6. 21 S54. 5. 22 H1. 10. 20
23	西月ヶ岡遺跡	根室市	S51. 8. 28
24	大館跡	松前町	S52. 4. 5
25	上之国館跡 花沢館跡 洲崎館跡 勝山館跡	上ノ国町	S52. 4. 12 S52. 4. 12 H18. 3. 31
26	北斗遺跡	釧路市	S52. 7. 14
27	ウサクマイ遺跡群	千歳市	S54. 5. 23
28	キウス周堤墓群	千歳市	S54. 10. 23
29	オタフンベチャシ跡	浦幌町	S56. 8. 29
30	松前藩主松前家墓所	松前町	S56. 11. 21
31	旧余市福原漁場	余市町	S57. 2. 12
32	琴似屯田兵村兵屋跡	札幌市	S57. 5. 7
33	茂別館跡	北斗市	S57. 7. 3
34	根室半島チャシ跡群	根室市	S58. 4. 26
35	旧島松駅通所	北広島市	S59. 7. 25
36	静川遺跡	苫小牧市	S62. 1. 8
37	ユクエピラチャシ跡	陸別町	S62. 9. 8
38	北黄金貝塚	伊達市	S62. 12. 25
39	入江・高砂貝塚	洞爺湖町	S63. 5. 13
40	荘内藩ハママシケ陣屋跡	石狩市	S63. 5. 17
41	白滝遺跡群	遠軽町	H1. 1. 9
42	ピリカ遺跡	今金町	H6. 4. 26
43	旧留萌佐賀家漁場	留萌市	H9. 3. 11
44	シベチャリ川流域チャシ跡群およびアッペツチャシ跡	新ひだか町・日高町	H9. 12. 2
45	江別古墳群	江別市	H10. 9. 11
46	大谷地貝塚	余市町	H12. 11. 20
47	大船遺跡	函館市	H13. 8. 13
48	カリンバ遺跡	恵庭市	H17. 3. 2
49	鷺ノ木遺跡	森町	H18. 1. 26
50	垣ノ島遺跡	函館市	H23. 2. 7

[名 勝]

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	天都山	網走市	S13.12.14
2	旧岩船氏庭園（香雪園）	函館市	H13.8.13
3	ピリカノカ 九度山（クトゥンヌプリ）	名寄市	H21.7.23
	黄金山（ピンネタイオルシペ）	石狩市	H21.7.23
	神威岬（カムイエトゥ）	枝幸町・浜頓別町	H22.2.22
	襟裳岬（オンネエンルム）	えりも町	H22.8.5
	瞰望岩（インカルシ）	遠軽町	H23.2.7
	カムイチャシ	豊浦町	H23.2.7

[特別天然記念物]

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	阿寒湖のマリモ（植物）	釧路市	S27.3.29
2	野幌原始林（植物）	北広島市	S27.3.29
3	アポイ岳高山植物群落（植物）	様似町	S27.3.29
4	昭和新山（地質）	壮瞥町	S32.6.19
5	大雪山（天然保護区域）	上川町・東川町・美瑛町・新得町	S52.3.15
6	タンチョウ（動物・鳥類）	主な生息地北海道	S27.3.29

[天然記念物]

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	後方羊蹄山の高山植物帯（植物）	倶知安町・京極町・喜茂別町・ 真狩村・ニセコ町	T10.3.3
2	円山原始林（植物）	札幌市	T10.3.3
3	藻岩原始林（植物）	札幌市	T10.3.3
4	ヒノキアスナロおよびアオトドマツ自生地（植物）	江差町	T11.10.12
5	霧多布泥炭形成植物群落（植物）	浜中町	T11.10.12
6	登別原始林（植物）	登別市	T13.12.9
7	鶉川ゴヨウマツ自生北限地帯（植物）	厚沢部町	S3.2.7
8	オオミズナギドリ繁殖地（動物・鳥類）	松前町	S3.3.24
9	歌オブナ自生北限地帯（植物）	黒松内町	S3.10.22
10	春採湖ヒブナ生息地（動物・魚類）	釧路市	S12.12.21
11	北海道犬（動物・犬類）	—	S12.12.21
12	天売島海鳥繁殖地（動物・鳥類）	羽幌町	S13.8.8
13	名寄鈴石（鉱物）	名寄市	S14.9.7
14	名寄高師小僧（鉱物）	名寄市	S14.9.7

15	根室車石（地質）	根室市	S14. 9. 7
16	落石岬のサカイツツジ自生地（植物）	根室市	S15. 2. 10
17	幌満ゴヨウマツ自生地（植物）	様似町	S18. 8. 24
18	和琴ミンミンゼミ発生地（動物・昆虫）	弟子屈町	S26. 6. 9
19	大黒島海鳥繁殖地（動物・鳥類）	厚岸町	S26. 6. 9
20	ウスバキチョウ（動物・蝶類）	主な生息地北海道	S40. 5. 12
21	ダイセツタカネヒカゲ（動物・蝶類）	主な生息地北海道	S40. 5. 12
22	アサヒヒョウモン（動物・蝶類）	主な生息地北海道	S40. 5. 12
23	クマガラ（動物・鳥類）	主な生息地北海道	S40. 5. 12
24	イヌワシ（動物・鳥類）	主な生息地宮城県	S40. 5. 12
25	カラフトルリシジミ（動物・蝶類）	主な生息地北海道	S42. 5. 2
26	釧路湿原（天然保護区域）	標茶町・鶴居村・釧路町	S42. 7. 6
27	オジロワシ（動物・鳥類）	主な生息地北海道・新潟県	S45. 1. 23
28	オオワシ（動物・鳥類）	主な生息地北海道・石川県・福井県	S45. 1. 23
29	沙流川源流原始林（天然保護区域）	日高町	S45. 12. 4
30	エゾシマフクロウ（動物・鳥類）	主な生息地北海道	S46. 5. 19
31	コクガン（動物・鳥類）	主な生息地北海道・青森県・秋田県	S46. 5. 19
32	ヒシクイ（動物・鳥類）	主な生息地北海道・青森県・ 宮城県・新潟県・石川県	S46. 6. 28
33	マガン（動物・鳥類）	主な生息地北海道・青森県・ 宮城県・新潟県・石川県	S46. 6. 28
34	女満別湿生植物群落（植物）	大空町	S47. 6. 14
35	松前小島（天然保護区域）	松前町	S47. 12. 12
36	ヒメチャマダラセセリ（動物・蝶類）	主な生息地北海道	S50. 2. 13
37	エゾミカサリュウ化石（鉱物）	三笠市	S52. 7. 16
38	標津湿原（天然保護区域）	標津町	S54. 8. 7
39	焼尻の自然林（植物）	羽幌町	S58. 8. 30
40	夕張岳の高山植物群落および蛇紋岩メラン ジュ帯（植物・地質）	夕張市・南富良野町	H8. 6. 19
41	オンネトー湯の滝マンガン酸化物生成地（地質・植物）	足寄町	H12. 9. 6

〔重要文化的景観〕

No.	名 称	所 在 地	選定年月日
1	アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観	平取町	H19. 7. 26

・国指定文化財一覧は→

<http://www.dokyoii.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/bun-hogo-bunkagaiyo.htm>

(3) 道指定文化財一覧

道指定文化財とは、北海道文化財保護条例に基づき、北海道文化財保護審議会の答申を受けて、北海道教育委員会が指定して保存を図る文化財です。

〔有形文化財〕

(平成 23 年 3 月 31 日現在)

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	樽岸出土の石器	函館市	S32. 12. 20
2	野幌屯田兵第二中隊本部	江別市	S33. 4. 10
3	阿弥陀如来立像	恵庭市	S34. 2. 24
4	釈迦如来立像	伊達市	S34. 2. 24
5	夷酋列像粉本	函館市	S34. 2. 24
6	にしん漁場建築	小樽市	S35. 5. 31
7	旧松前城本丸表御殿玄関	松前町	S38. 7. 26
8	旧函館博物館一号	函館市	S38. 7. 26
9	旧函館博物館二号	函館市	S38. 7. 26
10	旧金森洋物店	函館市	S38. 7. 26
11	茅部の鯡供養塔	森町	S38. 12. 24
12	琴似屯田兵屋	札幌市	S39. 10. 3
13	アイヌ丸木舟および推進具	苫小牧市	S42. 6. 22
14	東蝦新道記	広尾町	S43. 1. 18
15	女満別石刃鏃遺跡出土の遺物	大空町	S43. 1. 18
16	大樹遺跡出土の遺物	大樹町	S43. 1. 18
17	漁場建築佐藤家	寿都町	S43. 3. 29
18	岩内東山円筒文化遺跡出土の遺物	岩内町	S43. 3. 29
19	静内御殿山墳墓群出土の遺物	新ひだか町	S43. 3. 29
20	石崎八幡神社の鰐口	函館市	S43. 3. 29
21	釈迦涅槃図蠣崎波響筆	函館市	S43. 3. 29
22	榎法華出土の尖底土器	函館市	S43. 3. 29
23	和田屯田兵村の被服庫	根室市	S43. 12. 18
24	日ノ浜遺跡出土の動物土偶	函館市	S45. 2. 12
25	刀銘源正雄	函館市	S45. 2. 12
26	新羅之記録	奥尻町	S45. 2. 12
27	本願寺駅逕	沼田町	S46. 3. 5
28	徳山大神宮	松前町	S46. 3. 5
29	住吉町遺跡出土の遺物	函館市	S46. 3. 5
30	板碑（貞治の碑）	函館市	S46. 3. 5

31	サイベ沢遺跡出土の遺物	函館市	S46. 3. 5
32	板碑（戸井町の碑）	函館市	S46. 3. 5
33	美唄屯田兵屋	美唄市	S47. 2. 17
34	礼文島出土の歯牙製女性像及び動物像	礼文町	S47. 2. 17
35	太田屯田兵屋	厚岸町	S49. 2. 28
36	天内山遺跡出土の遺物	余市町	S51. 5. 21
37	円空作観音像	釧路市	S52. 3. 11
38	円空作観音像	広尾町	S52. 3. 11
39	円空作十一面観音立像	上ノ国町	S52. 3. 11
40	円空作聖観音像	伊達市	S52. 3. 11
41	松前屏風	松前町	S52. 9. 12
42	亦稚貝塚出土の遺物	利尻町	S54. 3. 29
43	旧小納家住宅	羽幌町	S54. 11. 27
44	札幌市K-4 4 6 遺跡出土の遺物	札幌市	S55. 8. 12
45	南川遺跡出土の遺物	せたな町	S56. 3. 31
46	ホロナイポ遺跡出土の遺物	枝幸町	S56. 10. 29
47	砂館神社本殿	上ノ国町	S60. 3. 30
48	薙刀銘堀井正次	松前町	S60. 3. 30
49	熊石の山海漁獵供養塔	八雲町	S60. 3. 30
50	不動明王立像	松前町	S60. 3. 30
51	旧北海道庁函館支庁庁舎	函館市	S60. 3. 30
52	旧開拓使函館支庁書籍庫	函館市	S60. 3. 30
53	旧永山武四郎邸	札幌市	S62. 11. 27
54	木造阿弥陀如来立像	松前町	S63. 9. 10
55	木造地藏菩薩立像	八雲町	S63. 9. 10
56	幌加川遺跡出土の石器群	遠軽町	H3. 3. 30
57	木造日蓮聖人坐像	松前町	H4. 3. 31
58	法華寺寛保津波の碑	江差町	H4. 3. 31
59	正覚院寛保津波の碑	江差町	H4. 3. 31
60	旧檜山爾志郡役所庁舎	江差町	H4. 3. 31
61	入江馬頭観世音碑	洞爺湖町	H4. 3. 31
62	木造五百羅漢像	小樽市	H6. 2. 9
63	奥行臼駅逕	別海町	H6. 6. 3
64	滝里遺跡群出土遺物	芦別市	H12. 4. 14
65	絵馬カムイノミの図	豊頃町	H13. 3. 30

66	光明寺寛保津波の碑	松前町	H13. 3. 30
67	泉龍院寛保津波の碑	松前町	H13. 3. 30
68	無量寺寛保津波の碑	八雲町	H13. 3. 30
69	宮歌村文書	福島町	H16. 9. 22
70	木造十一面観音立像	苫前町	H19. 3. 20
71	赤彩注口土器	八雲町	H19. 3. 20
72	初田牛 20 遺跡出土の土偶及び墓坑出土遺物	根室市	H20. 3. 18
73	大乘妙典一千部供養塔	北斗市	H22. 3. 16
74	知里幸恵ノート	江別市(北海道立図書館)	H22. 3. 16

〔有形民俗文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	江差姥神町横山家	江差町	S38. 12. 24
2	江差町姥神神社祭礼山車神功山人形および附属品	江差町(神功山保存会)	S38. 12. 24
3	江差町姥神神社祭礼山車松宝丸	江差町(松宝丸保存会)	S38. 12. 24
4	求福山山車の人形その他附属品	松前町	S52. 9. 11
5	石狩弁天社の鮫様(妙亀・法鮫大明神像)	石狩市	H19. 3. 20
6	金龍寺の鮫様(龍神・妙亀菩薩・鮫神像)	石狩市	H19. 3. 20

〔無形民俗文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	江差沖揚げ音頭	江差町	S52. 3. 11
2	五勝手鹿子舞	江差町	S52. 3. 11
3	松前祇園ばやし	松前町	S52. 3. 11
4	江差追分	江差町	S52. 4. 13
5	江差三下り	江差町	S57. 6. 30
6	江差餅つき囃子	江差町	S57. 6. 30
7	松前神楽	松前町・福島町・函館市・小樽市	H20. 6. 13

〔史 跡〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	地鎮山環状列石	小樽市	S25. 8. 28
2	西崎山環状列石	余市町	S26. 9. 6
3	浦幌新吉野台細石器遺跡	浦幌町	S26. 9. 6

4	宗谷の護国寺跡	稚内市	S32. 1. 29
5	斜里朱円周堤墓及び出土遺物	斜里町	S32. 1. 29
6	神居古潭竪穴住居遺跡	旭川市	S32. 12. 20
7	静内御殿山墳墓群	新ひだか町	S38. 12. 24
8	門別富仁家墳墓群	日高町	S38. 12. 24
9	オムサロ台地竪穴群	紋別市	S39. 10. 3
10	十勝ホロカヤントー竪穴群	大樹町	S41. 7. 7
11	浜頓別クッチャロ湖畔竪穴群	浜頓別町	S41. 7. 7
12	鶴川盛土墳墓群	むかわ町	S41. 7. 7
13	厚岸神岩砦跡及び竪穴群	厚岸町	S41. 7. 7
14	開拓使三角測量勇払基点	苫小牧市	S42. 3. 17
15	古武井熔鋳炉跡	函館市	S42. 3. 17
16	女那川煉瓦製造所跡	函館市	S42. 3. 17
17	恵山貝塚	函館市	S42. 3. 17
18	シブノツナイ竪穴住居跡	湧別町	S42. 3. 17
19	朱円竪穴住居跡群	斜里町	S42. 6. 22
20	岩内東山円筒文化遺跡	岩内町	S43. 3. 29
21	興部豊野竪穴住居跡	興部町	S43. 12. 18
22	十勝オコッペ遺跡	浦幌町	S51. 5. 21
23	十勝太遺跡群	浦幌町	S51. 5. 21
24	野花南周堤墓群	芦別市	H12. 4. 14
25	開拓使三角測量一本木基点	北斗市	H16. 9. 22
26	青苗砂丘遺跡	奥尻町	H20. 3. 18

〔名 勝〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	小清水海岸	小清水町	S26. 9. 6
2	羽衣の滝	東川町	S26. 9. 6

〔天然記念物〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	斜里海岸の草原群落	斜里町	S25. 8. 28
2	中頓別鍾乳洞	中頓別町	S32. 1. 29
3	佐呂間湖畔鶴沼のアッケシソウ群落	湧別町	S32. 1. 29
4	温根湯エゾムラサキツツジ群落	北見市	S32. 1. 29
5	礼文島桃岩付近一帯の野生植物	礼文町	S34. 9. 11

6	当麻鍾乳洞	当麻町	S36. 3. 17
7	札内川流域化粧柳自生地	帯広市	S37. 4. 3
8	更別湿原のヤチカンバ	更別村	S38. 7. 26
9	ユルリ・モユルリ島海鳥繁殖地	根室市	S38. 10. 15
10	羅臼のひかりごけ	羅臼町	S38. 12. 24
11	大津海岸トイトツキ浜野生植物群落	豊頃町	S38. 12. 24
12	大津海岸長節湖畔野生植物群落	豊頃町	S38. 12. 24
13	雨竜沼高層湿原帯	雨竜町	S39. 10. 3
14	白滝の流紋岩球顆	遠軽町	S39. 10. 3
15	二股温泉の石灰華	長万部町	S40. 6. 14
16	樽前山熔岩円頂丘	苫小牧市	S42. 3. 17
17	大正のカシワ林	帯広市	S43. 1. 18
18	茅部の栗林	森町	S43. 1. 18
19	新冠泥火山	新冠町	S43. 1. 18
20	羅臼の間歇泉	羅臼町	S43. 3. 19
21	利尻島のチシマザクラ自生地	利尻町	S43. 12. 18
22	然別湖のオショロコマ生息地	鹿追町・上士幌町	S43. 12. 18
23	稚咲内海岸砂丘林	豊富町	S46. 4. 21
24	厚岸床潭沼の緋鮒生息地	厚岸町	S47. 4. 1
25	乙部鮪ノ岬の安山岩柱状節理	乙部町	S47. 4. 1
26	オシュンコシュン粗粒玄武岩柱状節理	斜里町	S48. 3. 14
27	夕張の石炭大露头	夕張市	S49. 12. 6
28	帯広畜産大学農場の構造土十勝坊主	帯広市	S49. 12. 6
29	タキカワカイギウ化石標本	滝川市	S59. 3. 12
30	レブンアツモリソウ群生地	礼文町	H6. 6. 3
31	黄金水松	芦別市	H14. 3. 29
32	空知大滝罅穴群	芦別市	H23. 3. 15
33	西別湿原ヤチカンバ群落地	別海町	H23. 3. 15

・道指定文化財一覧は→

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/bun-hogo-do-sitei.htm>

(4) 管内別市町村指定文化財一覧

管内	有形文化財(建造物)		有形文化財 (美術工芸品)	無形文化財	民俗文化財		史跡	名勝	天然記念物	伝統的建造物群	計
	件数	(棟数)			有形	無形					
空知	15	(16)	35	3	4	17	10	0	10	0	94
石狩	8	(8)	22	1	2	3	5	0	4	0	45
後志	9	(9)	28	1	0	11	26	2	10	0	87
胆振	9	(9)	41	0	12	15	22	0	14	0	113
日高	1	(1)	17	5	0	0	2	1	1	0	27
渡島	2	(2)	109	0	12	15	9	4	8	0	159
檜山	7	(10)	50	0	9	13	4	1	1	0	85
上川	15	(16)	19	2	0	10	16	0	21	0	83
留萌	2	(2)	4	0	3	7	42	0	1	0	59
宗谷	15	(15)	13	0	0	2	14	0	7	0	51
ホ-ツ	8	(8)	12	0	4	1	6	0	7	0	38
十勝	3	(3)	37	1	1	8	6	0	15	0	71
釧路	3	(3)	14	2	0	2	6	0	14	0	41
根室	2	(6)	14	0	1	2	6	0	21	0	46
合計	99	(108)	415	15	48	106	174	8	134	0	999

・市町村指定文化財一覧は→

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/grp/03/itiran220401.pdf>

(5) 管内別登録文化財

管内	有形文化財	記念物
空知	24	0
石狩	20	0
後志	14	0
胆振	6	0
日高	1	0

管内	有形文化財	記念物
渡島	9	1
檜山	1	0
上川	10	0
留萌	0	0
宗谷	2	0

管内	有形文化財	記念物
ホ-ツ	7	0
十勝	7	0
釧路	1	0
根室	7	0
合計	109	1

(6) 登録文化財一覧

登録文化財とは、文化財保護法に基づき、国・地方公共団体指定以外の有形文化財(建造物)もしくは記念物(名勝)のうち、保存活用のための措置が特に必要なものを文部科学大臣が文化財登録原簿に登録して保存を図るものです。

〔有形文化財〕

(平成23年3月31日現在)

No.	名 称	所在地	登録年月日
1	札幌市資料館（旧札幌控訴院）	札幌市	H9. 5. 7
2	五島軒本店旧館	函館市	H9. 5. 7
3	北海道大学古河記念講堂（旧東北帝国大学農科大学林学科教室）	札幌市	H9. 9. 3
4	旧国鉄根北線越川橋梁	斜里町	H10. 7. 23
5	北星学園創立百周年記念館（旧北星女学校宣教師館）	札幌市	H10. 9. 2
6	日本キリスト教団札幌教会（旧札幌美以教会堂）	札幌市	H10. 9. 2
7	室蘭市旧室蘭駅舎	室蘭市	H11. 7. 8
8	旧国鉄士幌線勇川橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
9	旧国鉄士幌線第三音更川橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
10	旧国鉄士幌線第五音更川橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
11	旧国鉄士幌線十三の沢橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
12	北海道知事公館（旧三井クラブ）	札幌市	H11. 10. 14
13	杉野目家住宅	札幌市	H11. 10. 14
14	旧丹波屋旅館和館	中頓別町	H12. 2. 15
15	旧丹波屋旅館洋館	中頓別町	H12. 2. 15
16	北海道大学農学部博物館バチエラー記念館	札幌市	H12. 4. 28
17	北海道大学附属植物園庁舎（旧札幌農学校動植物学教室）	札幌市	H12. 4. 28
18	北海道大学旧札幌農学校昆虫及養蚕学教室	札幌市	H12. 4. 28
19	北海道大学旧札幌農学校図書館読書室	札幌市	H12. 4. 28
20	北海道教育大学函館校北方教育資料室（旧函館師範学校）	函館市	H12. 4. 28
21	北海道大学農学部附属苫小牧地方演習林森林記念館（旧標本貯蔵室）	苫小牧市	H12. 4. 28
22	北海道大学文学部二風谷研究室（旧マンロー邸）	平取町	H12. 4. 28
23	北海道大学旧札幌農学校図書館書庫	札幌市	H12. 4. 28
24	プレイリー・ハウス（旧佐田邸）	函館市	H12. 4. 28
25	エドウィン・ダン記念館（旧北海道庁真駒内種畜場事務所）	札幌市	H12. 9. 26
26	函館中華会館	函館市	H13. 4. 24
27	旧西岡水源池取水塔	札幌市	H13. 8. 28
28	北海道林木育種場旧庁舎	江別市	H13. 8. 28
29	根室市明治公園第一サイロ	根室市	H13. 8. 28
30	根室市明治公園第二サイロ	根室市	H13. 8. 28
31	根室市明治公園第三サイロ	根室市	H13. 8. 28
32	旧中村平八郎家住宅主屋	むかわ町	H13. 8. 28
33	旧国鉄富内線富内駅舎	むかわ町	H13. 8. 28

34	旧国鉄富内線富内駅プラットフォーム	むかわ町	H13. 8. 28
35	旧国鉄富内線富内駅構内線路	むかわ町	H13. 8. 28
36	上川倉庫事務所	旭川市	H13. 11. 20
37	上川倉庫一号倉庫	旭川市	H13. 11. 20
38	上川倉庫二号倉庫（リハーサルホール）	旭川市	H13. 11. 20
39	上川倉庫三号倉庫（チェアーズギャラリー）	旭川市	H13. 11. 20
40	上川倉庫八号倉庫	旭川市	H13. 11. 20
41	上川倉庫十号倉庫（デザインギャラリー）	旭川市	H13. 11. 20
42	上川倉庫十一号倉庫（大雪地ビール館）	旭川市	H13. 11. 20
43	あさでん春光整備工場（旧陸軍第七師団騎兵第七連隊覆馬場）	旭川市	H13. 11. 20
44	松岡家住宅	旭川市	H13. 11. 20
45	最創山光岸寺本堂	旭川市	H13. 11. 20
46	旧北陸銀行江別支店	江別市	H14. 2. 14
47	遺愛学院講堂	函館市	H14. 6. 25
48	石崎漁港トンネル	上ノ国町	H15. 1. 31
49	旧国鉄士幌線第六音更川橋梁	上士幌町	H15. 1. 31
50	旧国鉄士幌線音更トンネル	上士幌町	H15. 1. 31
51	ニッカウキスキー北海道工場事務所棟	余市町	H17. 2. 9
52	ニッカウキスキー北海道工場蒸溜棟	余市町	H17. 2. 9
53	ニッカウキスキー北海道工場貯蔵棟	余市町	H17. 2. 9
54	ニッカウキスキー北海道工場リキュール棟	余市町	H17. 2. 9
55	ニッカウキスキー北海道工場第一乾燥塔	余市町	H17. 2. 9
56	ニッカウキスキー北海道工場第二乾燥塔	余市町	H17. 2. 9
57	ニッカウキスキー北海道工場研究室	余市町	H17. 2. 9
58	ニッカウキスキー北海道工場旧竹鶴邸	余市町	H17. 2. 9
59	ニッカウキスキー北海道工場第一貯蔵庫	余市町	H17. 2. 9
60	函館大手町ハウス（旧浅野セメント函館営業所）	函館市	H17. 7. 12
61	遺愛学院（旧遺愛女学校）謝恩館	函館市	H17. 7. 12
62	博物館網走監獄教誨堂	網走市	H17. 7. 12
63	博物館網走監獄五翼放射状平屋舎房	網走市	H17. 7. 12
64	博物館網走監獄二見ヶ岡農場	網走市	H17. 7. 12
65	J R小樽駅本屋	小樽市	H18. 3. 27
66	J R小樽駅プラットホーム	小樽市	H18. 3. 27
67	熊谷家住宅主屋	北斗市	H18. 3. 27
68	旧北炭夕張炭鉱専用鉄道高松跨線橋	夕張市	H18. 10. 18

69	旧北炭夕張炭鉱天龍坑人車斜坑坑口	夕張市	H18. 10. 18
70	旧北炭夕張炭鉱天龍坑資材斜坑坑口	夕張市	H18. 10. 18
71	旧北炭夕張炭鉱模擬坑道	夕張市	H18. 10. 18
72	旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線拱橋	夕張市	H18. 10. 18
73	旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線スキップ隧道	夕張市	H18. 10. 18
74	旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線ベルト隧道西坑門	夕張市	H18. 10. 18
75	小林酒造旧事務所（蔵元北の錦記念館）	栗山町	H18. 10. 18
76	小林酒造旧ビール庫・缶詰資材庫（大正・昭和の暮らし館）	栗山町	H18. 10. 18
77	小林酒造旧精米場（酒の郷なつかしホール）	栗山町	H18. 10. 18
78	小林酒造旧資材庫（昔の酒道具展示館）	栗山町	H18. 10. 18
79	小林酒造一番蔵	栗山町	H18. 10. 18
80	小林酒造二番蔵	栗山町	H18. 10. 18
81	小林酒造三番蔵	栗山町	H18. 10. 18
82	小林酒造四番蔵	栗山町	H18. 10. 18
83	小林酒造五番蔵	栗山町	H18. 10. 18
84	小林酒造六番蔵	栗山町	H18. 10. 18
85	小林酒造製麹室	栗山町	H18. 10. 18
86	小林酒造蒸米場	栗山町	H18. 10. 18
87	小林家住宅主屋	栗山町	H18. 10. 18
88	沼田家住宅旧りんご倉庫	札幌市	H18. 11. 29
89	旧幌向駅通所	南幌町	H18. 11. 29
90	斉藤家住宅（旧盛田家住宅）主屋	森町	H19. 7. 31
91	順誓寺本堂	津別町	H19. 7. 31
92	北村家住宅主屋（旧土田旅館）	中標津町	H19. 10. 2
93	星槎大学（旧頼城小学校）校舎	芦別市	H20. 3. 7
94	星槎大学（旧頼城小学校）体育館	芦別市	H20. 3. 7
95	旧上藻別駅通所	紋別市	H20. 10. 23
96	旧三井芦別鉄道炭山川橋梁	芦別市	H21. 1. 8
97	北海道立根釧農業試験場（旧北海道農事試験場根室支場）農具庫	中標津町	H21. 8. 7
98	北海道立根釧農業試験場（旧北海道農事試験場根室支場）種苗倉庫	中標津町	H21. 8. 7
99	伝成館（旧北海道農事試験場根室支場庁舎）	中標津町	H21. 8. 7
100	中標津町郷土館緑ヶ丘文官（旧北海道農事試験場根室支場陳列館）	中標津町	H21. 8. 7
101	正行寺鐘楼	厚岸町	H21. 8. 7
102	黒田家住宅主屋	札幌市	H22. 9. 10
103	黒田家住宅蔵	札幌市	H22. 9. 10

104	黒田家住宅表門	札幌市	H22. 9. 10
105	黒田家住宅石塀	札幌市	H22. 9. 10
106	旧青山家別邸主屋	小樽市	H22. 9. 10
107	旧青山家別邸文庫蔵	小樽市	H22. 9. 10
108	旧青山家別邸板塀	小樽市	H22. 9. 10
109	双葉幼稚園園舎	帯広市	H22. 9. 10

〔記念物〕

	名 称	所在地	登録年月日
1	函館公園	函館市	H18. 1. 26

・ 国登録文化財一覧は→<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/bun-hogo-tourokuitiran.htm>

(7) 平成 22 年度北海道文化財保護強調月間実施事業一覧

〔一般公開〕

市町村名	公開・活用事業名	主催者
岩見沢市	〈市指定 有形文化財〉 石器群の公開	岩見沢市郷土科学館
岩見沢市	〈市指定 有形文化財〉 厳見澤紀碑の公開	岩見沢市教育委員会
岩見沢市	〈市指定 有形文化財〉 一の沢水源地取水塔の公開	岩見沢市教育委員会
岩見沢市	〈市指定 有形文化財〉 旧國兼家住宅の公開	岩見沢市教育委員会
岩見沢市	〈市指定 有形文化財〉 阿弥陀如来立像の公開	岩見沢市教育委員会
美唄市	〈道指定 有形文化財〉 美唄屯田兵屋の公開	美唄市教育委員会
美唄市	〈市指定 有形文化財〉 旧桜井家住宅の公開	美唄市教育委員会
美唄市	〈市指定 有形文化財〉 美唄屯田騎兵隊火薬庫の公開	美唄市教育委員会
美唄市	〈市指定 天然記念物〉 光珠内いん石の公開	美唄市教育委員会
美唄市	〈市指定 有形文化財〉 4 1 1 0 形式十輪連結タンク機関車 2 号の公開	美唄市教育委員会
芦別市	〈道指定 史跡〉 野花南周堤墓群	星の降る里百年記念館
芦別市	〈道指定 有形文化財〉 滝里遺跡群出土遺物の公開	星の降る里百年記念館
芦別市	〈道指定 天然記念物〉 黄金水松の公開	星の降る里百年記念館
芦別市	〈市指定 有形文化財〉 旧干場家レンガ倉庫の公開	星の降る里百年記念館
芦別市	〈市指定 天然記念物〉 新城仙台山の三本ナラの公開	星の降る里百年記念館
芦別市	〈市指定 有形文化財〉 毛抜形太刀の公開	星の降る里百年記念館
芦別市	〈国登録 有形文化財〉 星槎大学（旧頼城小学校）校舎及び体育館の公開	星槎大学
芦別市	〈国登録 有形文化財〉 旧三井芦別鉄道炭山川橋梁の公開	星の降る里百年記念館
滝川市	〈市指定 有形文化財〉 華月館の公開	滝川市教育委員会

滝川市	〈市指定 有形文化財〉 屯田兵屋の公開	滝川市教育委員会
滝川市	〈市指定 有形文化財〉 牧羊用石造サイロの公開	滝川市教育委員会
南幌町	〈国登録 有形文化財〉 旧幌向駅通所	南幌町教育委員会
栗山町	〈町指定 有形文化財〉 「千瓢彫」本田数馬翁の遺作 木彫りの鮭の公開	栗山町教育委員会
栗山町	〈町指定 有形文化財〉 泉記念館の公開	栗山町開拓記念館
栗山町	〈町指定 有形文化財〉 泉麟太郎君記念碑の公開	栗山町開拓記念館
月形町	〈町指定 有形文化財〉 樺戸集治監本庁舎の公開	月形町役場産業課商工観光係
月形町	〈町指定 有形文化財〉 北海回覧記の公開	月形町役場産業課商工観光係
新十津川町	〈町指定 有形文化財〉 絵馬（玉置神社奉祀之景）の公開	新十津川町教育委員会
妹背牛町	〈町指定 有形文化財〉 獅子頭、天狗の公開	妹背牛町教育委員会
秩父別町	〈町指定 有形文化財〉 屯田の鐘の公開	秩父別町教育委員会
札幌市	〈国指定 重要文化財〉 北海道大学農学部第二農場の建物群の公開	北海道大学総合博物館
札幌市	〈国指定 重要文化財〉 北海道大学農学部植物園・博物館の公開	北海道大学植物園
札幌市	〈国登録 有形文化財〉 北海道大学農学部植物園庁舎の公開	北海道大学植物園
札幌市	〈国指定 重要有形民俗文化財〉 アイヌのまるきぶねの公開	北海道大学植物園
札幌市	札幌市内で発見された埋蔵文化財	札幌市埋蔵文化財センター
札幌市	野外博物館北海道開拓の村（歴史的建造物 52 棟）	財団法人北海道開拓の村
江別市	北海道遺跡百選 3—北海道埋蔵文化財センターの調査から	（財）北海道埋蔵文化財センター
江別市	〈町指定 有形文化財〉 異形環状土器（長沼町）の公開	（財）北海道埋蔵文化財センター
恵庭市	〈国指定 重要文化財〉 カリンバ遺跡墓坑出土品の公開	恵庭市郷土資料館
石狩市	〈国指定 史跡〉 荘内藩ハママンケ陣屋跡	石狩市教育委員会
石狩市	〈道指定 有形民俗文化財〉 金龍寺の鮫様の公開	石狩市教育委員会
石狩市	〈市指定 有形文化財〉 金子家古文書の特別公開	石狩市教育委員会
石狩市	〈市指定 有形文化財〉 八幡町遺跡ワッカオイ第 20 号墓出土の土器の公開	石狩市教育委員会
石狩市	〈市指定 天然記念物〉 チョウザメの剥製の公開	石狩市教育委員会
石狩市	〈市指定 有形文化財〉 旧長野商店の公開	石狩市教育委員会
石狩市	〈市指定 有形文化財〉 石狩弁天社の公開	石狩市教育委員会
小樽市	〈国指定 重要文化財〉 旧手宮鉄道施設（機関車庫 1 号、転車台、貯水槽、擁壁等）の公開	小樽市総合博物館
小樽市	〈市指定 史跡〉 北海道鉄道開通起点の公開	小樽市総合博物館
小樽市	〈市指定 有形文化財〉 日本銀行旧小樽支店（金融資料館）の公開	金融資料館

小樽市	〈道指定 史跡〉 地鎮山環状列石の公開	小樽市総合博物館
小樽市	〈道指定 有形文化財〉 にしん漁場建築（旧田中家母屋）の公開	小樽市産業港湾部観光振興室
小樽市	〈国指定 史跡〉 手宮洞窟の公開	小樽市総合博物館
小樽市	〈国指定 史跡〉 忍路環状列石の公開	小樽市総合博物館
小樽市	〈国登録 有形文化財〉 J R小樽駅本屋 プラットホーム	J R北海道
小樽市	〈国指定 重要文化財〉 旧日本郵船株式会社小樽支店	小樽市総合博物館
小樽市	〈道指定 有形文化財〉 木造 五百羅漢像の公開	小樽市総合博物館
小樽市	〈市指定 有形文化財〉 木造 聖観音立像の公開	小樽市総合博物館
室蘭市	〈国指定 史跡〉 東蝦夷地南部藩陣屋跡モロラン陣屋跡の公開	室蘭市教育委員会
室蘭市	〈市指定 有形文化財〉 輪西屯田兵記念碑の公開	室蘭市教育委員会
室蘭市	〈市指定 有形文化財〉 輪西屯田兵旧火薬庫の公開	室蘭市教育委員会
室蘭市	〈市指定 有形文化財〉 輪西屯田兵関係資料の公開	室蘭市教育委員会
室蘭市	〈市指定 有形文化財〉 白鳥大橋海底部等の出土の材化石及び貝化石の標本の公開	室蘭市経済部観光課
室蘭市	〈市指定 有形文化財〉 仙台藩角田領添田家関係資料の公開	室蘭市教育委員会
室蘭市	〈市指定 有形文化財〉 南部藩陣屋跡出土砲弾の公開	室蘭市教育委員会
室蘭市	〈市指定 有形文化財〉 友情人形（青い目の人形）の公開	室蘭市教育委員会
室蘭市	〈国登録 有形文化財〉 室蘭市旧室蘭駅舎の公開	室蘭市経済部観光課 室蘭観光協会
伊達市	迎賓館（ボランティアくわの会）の解説	伊達市教育委員会
平取町	特別展 「N・Gマンローと二風谷」	沙流川歴史館
平取町	第17回特別展 「アイヌ伝承地を観る～沙流川流域の文化的景観めぐり～」	平取町立二風谷アイヌ文化博物館
北斗市	北斗市収蔵品展（民族資料等）	北斗市郷土資料館
松前町	蠣崎氏と松前氏 史跡福山城跡出土近世陶磁器・史跡勝山城跡出土中世遺物（相互貸借）の展示	松前町教育委員会
森町	特別展 縄文時代のくらし（仮称）	森町教育委員会
八雲町	〈国指定 重要文化財〉 コタン温泉遺跡出土品の公開	八雲町郷土資料館
長万部町	町民センター 考古学資料コーナー解放	長万部町教育委員会
上ノ国町	蠣崎氏と松前氏 史跡福山城跡出土近世陶磁器・史跡勝山城跡出土中世遺物（相互貸借）の展示	上ノ国町教育委員会
名寄市	〈国指定 天然記念物〉 名寄鈴石・名寄高師小僧の公開	名寄市北国博物館
富良野市	富良野市博物館第19回特別展「伊能忠敬大図フロア展 in ふらの」	富良野市生涯学習センター

当麻町	〈町指定 史跡〉 旧当麻神社跡丘陵地の公開	当麻町教育委員会
当麻町	〈道指定 天然記念物〉 当麻鍾乳洞の公開	当麻町総務企画課
剣淵町	剣淵町資料館の開設	剣淵町教育委員会
剣淵町	〈町指定 有形文化財〉 屯田兵屋の公開	剣淵町教育委員会
増毛町	〈国指定 重要文化財〉 旧商家丸一本間家の公開	増毛町教育委員会
苫前町	〈町指定 有形文化財〉 須恵器（甕）の公開	苫前町郷土資料館
苫前町	〈町指定 有形文化財〉 修羅の公開	苫前町郷土資料館
礼文町	〈町指定 有形文化財〉 船泊遺跡出土遺物の公開 【最北の縄文文化を見る・知る・触れる】	礼文町教育委員会
網走市	〈国指定 史跡〉 最寄貝塚の公開	網走市立郷土博物館
網走市	〈国登録 有形文化財〉 博物館網走監獄の公開	博物館網走監獄
訓子府町	〈町指定 有形文化財〉 緑丘B遺跡及び増田遺跡の出土遺物の公開	訓子府町教育委員会
上士幌町	嶋木遺跡出土遺物の公開	上士幌ひがし大雪博物館
大樹町	〈道指定 史跡〉 十勝ホロカヤントー壑穴群の公開	大樹町教育委員会
大樹町	〈道指定 有形文化財〉 大樹遺跡出土の遺物（大樹式土器）の公開	大樹町教育委員会
幕別町	〈町指定 有形文化財〉 幕別町蝦夷文化考古館収蔵品の公開	幕別町蝦夷文化考古館
幕別町	〈町指定 有形文化財〉 札内N遺跡出土品の公開	幕別町ふるさと館
豊頃町	〈町指定 有形民俗文化財〉 二宮尊親の書「遂終」の公開	豊頃町教育委員会
豊頃町	昔の農機具展の公開	豊頃町教育委員会
釧路市	〈市指定 有形文化財〉 星兜（残欠）の公開	釧路市立博物館
別海町	〈道指定 有形文化財〉 奥行臼駅逓の公開	別海町教育委員会
別海町	〈町指定 有形文化財〉 奥行臼駅の公開	別海町教育委員会
別海町	〈町指定 有形文化財〉 旧別海村営軌道風連線奥行臼停留所の公開	別海町教育委員会
標津町	平成22年度史跡伊茶仁カリカリウス遺跡発掘調査出土品の公開	標津町ポー川史跡自然公園
中標津町	〈国登録 有形文化財〉 中標津町教育委員会郷土館緑ヶ丘 分館（旧北海道農業試験場根室支場陳列館）の公開	中標津町教育委員会

〔イベント〕

市町村名	公開・活用事業名	主催者
長沼町	史跡と野外アートめぐり	長沼町教育委員会
長沼町	ぐるっと美術館（移動美術館）	長沼町教育委員会
栗山町	子どもの文化財愛護活動推進事業	北海道文化財保護協会
奈井江町	第48回 奈井江町総合文化祭	奈井江町総合文化祭実行委員会

妹背牛町	妹背牛町総合文化祭 町指定無形文化財 獅子舞の公開	妹背牛町教育委員会
札幌市	世界遺産をめざして—北の縄文パネル展2010	北海道教育庁文化・スポーツ課
札幌市	北海道文化財保護功労者表彰	北海道文化財保護協会
札幌市	時計台まつり記念行事	時計台まつり実行委員会
札幌市	村内ガイドツアー	財団法人北海道開拓の村
札幌市	村民（むらびと）登録制度事業	財団法人北海道開拓の村
江別市	わかる考古学5 縄文生活体験ひろば —ふれる・つくる・つかう、体験する考古学—	(財)北海道埋蔵文化財センター
小樽市	ガレージトーク「生きている重要文化財—転車台と日本最古の機関車庫」	小樽市総合博物館
小樽市	〈道指定民俗文化財 松前神楽〉 平成22年度松前神楽北海道連合保存会合同公演	松前神楽連合保存会
蘭越町	子どもの文化財愛護活動推進事業	北海道文化財保護協会
余市町	フゴッペ洞窟発見60周年記念 国際シンポジウム「世界から見たフゴッペ洞窟」	余市町水産博物館
洞爺湖町	町民ロビー展 子ども縄文絵画展	洞爺湖町教育委員会
厚真町	昔の農器具体験	厚真町教育委員会
平取町	文化的景観現地説明会 「アイヌ伝承地を観る～沙流川流域の文化的景観めぐり～」	平取町立二風谷アイヌ文化博物館
函館市	旧函館区公会堂築100年記念事業 ハコダテ歴史建物フォトコンテスト入賞作品展	(財)函館市文化・スポーツ振興財団
函館市	旧函館区公会堂コンサート2010	(財)函館市文化・スポーツ振興財団
奥尻町	ふるさと探検	奥尻町教育委員会
網走市	体験監獄食	博物館網走監獄
陸別町	「第2回史跡ユクエピラチャシ跡写真コンテスト」作品展示	陸別町教育委員会
標津町	ポー川まつり（土器焼き体験）	標津町ポー川史跡自然公園

〔講演・講座〕

市町村名	公開・活用事業名	主催者
札幌市	文化の日講演会—〈東北学〉から北海道を眺める	北海道開拓記念館
札幌市	シンポジウム 海・森・人—北海道における人と自然との関係を考える—	北海道開拓記念館
伊達市	新・縄文ロビー講座	噴火湾文化研究所
平取町	沙流川歴史館講座	沙流川歴史館
函館市	ミュージアム・トーク	函館市北方民族資料館

函館市	「アイヌ文様刺繍教室」初級編・入門編	函館市北方民族資料館
富良野市	「伊能忠敬大図フロア展 in ふらの」開催記念事業講演会 「蝦夷地を表す古地図～上川地方の礎を築いた先人達～」	富良野市生涯学習センター
北見市	遺跡体験講座	北海道立常呂少年自然の家

・平成22年度北海道文化財保護強調月間は→

<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/kyoutyougekkan.htm>

(8) 平成22年度文化財パトロール

国指定文化財や埋蔵文化財包蔵地などの状況を把握し、計画的な維持・管理を行うため、文化財調査員34名を委嘱して計画的に巡視を行い、合わせて文化財保護思想の普及を図りました。

	有形文化財 有形民俗文化財	史跡	名勝	天然記念物	埋蔵文化財 包蔵地	合計
パトロール対象件数	51	50	5	47	11,830	
パトロール実施件数	33	44	7	49	172	305

(9) 平成22年度史跡名勝天然記念物の現状変更等の許可件数

史跡名勝天然記念物の現状変更や、保存に影響を及ぼす行為をしようとするときは、文化庁長官・北海道教育委員会・市町教育委員会の許可が必要となります。

国指定

許可権者	史跡	名勝	天然記念物	合計
文化庁長官	15	0	56	71
北海道教育委員会	2	0	9	11
市町教育委員会	19	0	26	45

道指定

許可権者	史跡	名勝	天然記念物	合計
北海道教育委員会	0	0	12	12

(10) 平成22年度銃砲刀剣類の登録状況

銃砲刀剣類は、公安委員会の許可証又は都道府県教育委員会の登録証がなければ所持できないため、銃砲刀剣類の登録などを行いました。

登録	登録証再交付	所有者変更	登録証返納	製作承認	合計(件数)
90	18	388	48	13	557

2 埋蔵文化財

(1) 市町村別埋蔵文化財包蔵地一覽

空	岩見沢市	54	後	ニセコ町	194	渡	知内町	32	上	幌加内町	8	川	雄武町	48		
	夕張市	16		真狩村	20		木古内町	52		(上川計)	1,069		(オホーツク計)	2,147		
	美瑛市	6		留寿都村	7		北斗市	104		留萌市	28		帯広市	59		
	芦別市	93		喜茂別町	13		七飯町	72		増毛町	16		音更町	102		
	赤平市	13		京極町	12		鹿部町	6		小平町	19		士幌町	39		
	三笠市	12		俱知安町	21		森町	51		苫前町	15		上士幌町	74		
	滝川市	10		共和町	30		八雲町	99		羽幌町	32		鹿追町	45		
	砂川市	19		岩内町	13		長万部町	48		初山別村	7		新得町	30		
	歌志内市	0		泊村	33		(渡島計)	938		遠別町	5		清水町	34		
	深川市	75		神恵内村	10		江差町	64		天塩町	43		芽室町	61		
	南幌町	0		積丹町	17		上ノ国町	85		(留萌計)	165		中札内村	5		
	知	奈井江町		22	志		古平町	11		檜	厚沢部町		54	宗	稚内市	139
上砂川町		0	仁木町	24		乙部町	111	猿払村	18		大樹町	32				
由仁町		37	余市町	63		せたな町	70	浜頓別町	19		広尾町	21				
長沼町		58	赤井川村	66		奥尻町	32	中頓別町	8		幕別町	132				
栗山町		37	(後志計)	802		今金町	59	枝幸町	70		池田町	58				
月形町		8	室蘭市	36		(檜山計)	475	豊富町	16		豊頃町	52				
浦臼町		48	苫小牧市	257		旭川市	216	礼文町	50		本別町	95				
新十津川		15	登別市	29		士別市	46	利尻町	11		足寄町	114				
妹背牛町		4	伊達市	88		名寄市	150	利尻富士町	20		陸別町	55				
秩父別町		8	豊浦町	20		富良野市	141	幌延町	20		浦幌町	58				
雨竜町		5	洞爺湖町	13		鷹栖町	28	(宗谷計)	371		(十勝計)	1,082				
石		北竜町	10	胆		壮瞥町	1	上	東神楽町		24	谷	網走市		166	鉧
	沼田町	6	白老町		44	当麻町	18		北見市	448	釧路町		76			
	(空知計)	556	安平町		71	比布町	22		紋別市	66	厚岸町		90			
	狩	札幌市	529		振	厚真町	133		愛別町	23	大空町		63	浜中町	121	
		江別市	142			むかわ町	98		上川町	23	美幌町		121	標茶町	208	
		千歳市	282			(胆振計)	790		東川町	22	津別町		54	弟子屈町	50	
		恵庭市	125			日高町	129		美瑛町	43	斜里町		363	鶴居村	73	
		北広島市	59			平取町	127		上富良野町	37	清里町		35	白糠町	30	
		石狩市	221			新冠町	43		中富良野町	35	小清水町		42	(鉧路計)	784	
		当別町	18			新ひだか町	153		南富良野町	25	訓子府町		263	根室市	304	
		新篠津村	2			浦河町	58		占冠村	11	置戸町		104	別海町	85	
		(石狩計)	1,378			様似町	28		和寒町	36	佐呂間町		38	中標津町	66	
後		小樽市	102	日		えりも町	67	剣淵町	30	遠軽町	215	標津町	191			
		島牧村	24			(日高計)	605	下川町	69	湧別町	54	羅臼町	75			
		寿都町	43			函館市	319	美深町	42	滝上町	15	(根室計)	721			
	黒松内町	51	松前町		122	音威子府村	10	興部町	38	計 11,883						
蘭越町	48	渡	福島町	33	中川町	10	西興部村	14	(前年比 53 箇所増)							

・ 詳しい埋蔵文化財包蔵地の位置は「北の遺跡案内」へ広報広聴

→ <http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/kitanoisekiannai.htm>

(2) 平成 22 年度埋蔵文化財保護のための事前協議件数と北海道実施の所在・試掘調査一覧

	件数	面積
埋蔵文化財保護のための事前協議	513	
平成 22 年度北海道実施の所在調査	55	6,665,124ha
平成 22 年度北海道実施の試掘調査	59	215.112ha

(3) 平成 22 年度北海道実施の管内別埋蔵文化財所在調査・試掘調査一覧

管内	所在調査		試掘調査	
	件数	面積	件数	面積
空知	2	952.100ha	4	15.357ha
石狩	4	287.729ha	2	35.879ha
後志	1	446.000ha	8	19.005ha
胆振	10	397.992ha	12	64.481ha
日高	0	—	3	7.500ha
渡島	0	—	7	6.014ha
檜山	0	—	0	—

管内	所在調査		試掘調査	
	件数	面積	件数	面積
上川	4	17.548ha	3	5.350ha
留萌	0	—	3	4.217ha
宗谷	4	479.834ha	3	10.668ha
林-ツク	8	913.399ha	4	11.513ha
十勝	22	3,170.522ha	9	34.213ha
釧路	0	—	0	—
根室	0	—	1	0.165ha

(4) 平成 22 年度管内別発掘調査一覧

管内	件数	調査面積
空知	0	—
石狩	7	12,859 m ²
後志	1	74 m ²
胆振	12	13,342 m ²
日高	1	3,000 m ²
渡島	18	21,449 m ²
檜山	4	2,388 m ²

管内	件数	調査面積
上川	3	9,557 m ²
留萌	0	—
宗谷	1	30 m ²
林-ツク	13	5,703 m ²
十勝	2	160 m ²
釧路	2	66 m ²
根室	4	1,288 m ²
合計	68	69,916 m ²

・平成 22 年度の発掘調査の概要→<http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/h22gaiyou.htm>

(5) 平成 22 年度周知の埋蔵文化財包蔵地での工事の届等件数

条項	内訳 (指示事項別)					合計
	現状保存	発掘調査	工事立会	慎重工事	その他	
法第 93 条	0	4	47	22	0	73
法第 94 条	0	20	54	30	1	105

(6) 平成 22 年度埋蔵文化財包蔵地の発見届等

条項	内訳 (指示事項別)					合計
	現状保存	発掘調査	工事立会	慎重工事	その他	
法第 96 条	0	0	1	0	0	1
法第 97 条	0	0	0	0	0	0

(7) 平成 22 年度出土文化財認定件数と出土遺物量

認定機関	認定件数	発見通知	合計(件数)	合計(箱数)
北海道	63	0	63	3,070 箱
政令市・中核市	5	13	18	181 箱

(8) 平成 22 年度出土文化財譲与件数

	市町村数	件数	箱数
出土文化財譲与	30	112	6,913 箱

※箱数は概ね 60 cm×40 cm×15 cm に換算したものです。

3 その他

(1) 北海道教育推進計画（第四次北海道教育長期総合計画 平成20年3月）

基本目標5 北海道らしい生活学習社会の実現
基本方向1-1 文化・芸術活動の推進

項目3-6 文化財の保存・活用

● 現状

道内には、長い間受け継がれてきた貴重な文化財が数多く残されています。これらは、北海道の歴史や文化を正しく理解するために欠かせないものであり、これまでも道民の共有財産として保存・活用を図ってきましたが、時代の推移により保存や伝承が困難となっているものもあるため、次の世代に確実に守り伝えていくことが課題となっています。

また、本道初の国宝の誕生や縄文遺跡群など【ユネスコ】の世界遺産登録への推進の盛り上がりなどにより、文化財に対する関心が一層高まる中で、本道の特性を生かした文化財の保存・活用や文化財を活用した魅力ある地域づくりが求められています。

● 施策の概要

本道の貴重な文化財を保護するため、有形・無形の文化財、記念物、埋蔵文化財等の調査及び保存・活用を積極的に推進するとともに、「アイヌ民俗文化財」の保存・伝承の取組を重点に推進します【1-2】。

また、世界遺産登録の推進をめざし積極的に取組を進めるとともに、文化財の価値や魅力を次代に伝え継承していくため、文化財に親しむ機会を提供し文化財情報の発信に努めます。

● 施策の対応方向

■ 文化財の調査・保存・活用の推進

- 有形・無形の文化財、史跡・名勝、天然記念物及び埋蔵文化財等を次代へ引き継いでいくため、文化財の調査及び保存・活用を積極的に進めます。

■ アイヌ民俗文化財の調査・保存・伝承活動の推進

- アイヌの人たちが北極の風土に根ざして育んできた文化は、本道の歴史や文化の形成に深くかかわっており、特に、自然との共生の中で培われた豊かな知恵や経験は貴重な財産と言えます。有形・無形のアイヌ民俗文化財を後世に伝えていくため、継続して調査に取り組みるとともに、保存・伝承活動を推進します。また、引き続き、学校においてアイヌの人たちの歴史・文化等についての理解を深める教育活動の充実に取り組みます。

■ 世界遺産登録に向けた取組の推進

- 探検家中津の縄文遺跡群や大規模洞穴遺跡群を資産候補として未来に引き継いでいくため、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）の世界文化遺産への登録に向けた取組を推進します。

■ 文化財に親しむ機会の提供と情報の発信

- 貴重な文化財の価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えていくため、学校教育や社会教育の場において文化財を活用する機会や、子どもや高齢の人々が文化財に親しむ機会を提供するとともに、文化財に関する多様な情報の発信に取り組みます。

● 主な事業の概要（H20～24）

事業の概要	実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化財の調査・保存・活用の充実 <ul style="list-style-type: none"> 文化財の指定や登録等を推進するとともに、文化財パトロールの実施等により、指定文化財等の現状を把握し、必要に応じて保存整備を行います。 埋蔵文化財包蔵地の適切な把握とその周知に努めます。 	道 市町村 民間
<ul style="list-style-type: none"> ○ アイヌ民俗文化財の調査・保存・伝承活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> アイヌ民俗文化財調査事業やアイヌ民俗文化財保存・伝承事業を実施するとともに、「アイヌ民族文化祭」やアイヌ語指導者養成講座等の開催を支援します。 アイヌ民俗文化財等の展示を推進します。 	道 市町村 民間
<ul style="list-style-type: none"> ○ 世界遺産登録に向けた取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> 縄文遺跡群や大規模洞穴遺跡群を資産候補として、北東北3県（青森県、岩手県、秋田県）及び道内関係市町村等と連携を図り、世界遺産暫定一覧表への登録をめざすとともに、普及・啓発事業や周知活動に取り組みます。 	道・県 市町村 民間
<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化財に親しむ機会の提供と情報の発信 <ul style="list-style-type: none"> 「文化財保護功績月誌」を採定して文化財に親しむ機会を提供するとともに、web版「北海道文化財年報」や指定文化財情報等のデータベース化を図り、文化財に関する総合的な情報の発信に取り組みます。 	道 市町村 民間

● 目標指標

指標	指標の概要	基準年度の状況	目標年度の状況
国及び北海道の指定文化財数	国及び北海道が指定する文化財の数	H18 295件	H24 320件
アイヌ文化にかかわる講座・研究会等への参加者数	道内各地で実施されたアイヌ文化にかかわる講座・研究会等への参加者数	H18 1,262人	H24 1,500人

(2) 平成 22 年度北海道文化財保護審議会

北海道教育委員会では、附属機関として北海道文化財保護審議会を設けています。この審議会は、北海道教育委員会の諮問に応じて文化財の保存・活用に関する重要な事項について調査審議し、教育委員会に意見を述べます。

審議会の委員は、学識経験者や文化財と関連の深い行政機関の職員から、教育委員会が任命します。現在、審議会は 15 名の委員で構成されています。

北海道文化財保護審議会の会議の傍聴については、会議の前日までに、申込先に、「住所」「氏名」「年齢」「連絡先」を申し出て、許可を受けると傍聴することができます。なお、「非公開」の議題は傍聴できません。

・ 申込先：北海道教育庁生涯学習推進局文化・スポーツ課文化財保護グループ

直通電話 (011)204-5749 FAX (011)232-1076

平成 22 年度は次のとおり開催しました

開催年月日	時 間	場 所	審 議 内 容
平成 22 年 9 月 2 日(木)	13 : 30 ～15 : 30	かでの 2・7 1020 会議室	・会長・副会長の選出等について ・文化財指定・登録の状況について ・「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」 の世界遺産登録に向けた取組について
平成 23 年 2 月 22 日(火)	14 : 00 ～15 : 30	道庁別館 8 階 1 号会議室	・文化財指定・登録の状況について ・「空知大滝罅穴群」「西別湿原ヤチカンバ 群落地」の道指定天然記念物の指定につ いて

(3) 北海道文化財保護審議委員一覧 (平成 23 年 3 月 31 日現在)

(任期:平成 22 年 7 月 1 日～平成 24 年 6 月 30 日)

氏 名	所 属 等
乾 淑 子	東海大学教授
岩 澤 孝 子	北海道教育大学准教授 (岩見沢校)
臼 杵 勲	札幌学院大学教授
小 栗 祐 美	北海道教育大学教授 (函館校)
片 倉 晴 雄	北海道大学大学院教授
菊 池 俊 彦	北海道大学名誉教授
駒 木 定 正	北海道職業能力開発大学校准教授
芥 藤 傑	三浦綾子記念文学館副館長
高 橋 英 樹	北海道大学総合博物館教授
土 屋 周 三	元小樽市総合博物館館長
早矢仕 有 子	札幌大学准教授
本 田 優 子	札幌大学文化学部長
松 本 政 美	北海道開発局開発監理部長
松 本 芳 樹	北海道森林管理局企画調整部長
箕 浦 名知男	北海道大学総合博物館研究員

・北海道文化財保護審議会について→<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/hogoshingikai.htm>

(4) 平成 22 年度銃砲刀剣類登録審査会

平成 22 年度の銃砲刀剣類登録審査会を次のとおり 4 回開催しました。

審査年月日	時 間	場 所
平成 22 年 6 月 2 日(水)	10:30～15:00	道庁別館 8 階 1 号会議室(札幌市中央区北 3 条西 7 丁目)
平成 22 年 8 月 27 日(金)	10:30～15:00	北海道上川合同庁舎 302 号会議室(旭川市永山 6 条 19 丁目)
平成 22 年 11 月 29 日(月)	10:30～15:00	道庁別館地下 1 会大会議室(札幌市中央区北 3 条西 7 丁目)
平成 23 年 2 月 15 日(火)	10:30～15:00	道庁別館地下 1 階大会議室(札幌市中央区北 3 条西 7 丁目)

(5) 北海道銃砲刀剣類登録審査委員 (平成 23 年 3 月 31 日現在)

(任期:平成 22 年 5 月 28 日～平成 24 年 3 月 31 日)

銃砲刀剣類登録審査委員	審査会場
田 中 益 穂	札幌(6 月、2 月)
川 合 喜 與 文	札幌(6 月、2 月)
梶 睦	旭川、札幌(11 月)
野 波 明 利	旭川、札幌(11 月)
石 井 利 明	札幌(6 月、11 月)

(6) 北海道立埋蔵文化財センター

① 入館者

平成 22 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
入館者数	799	1755	1597	1117	982	995	1214	794	370	344	268	511	10,746

② 資料等の閲覧・貸出等件数

平成 22 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
件数	5	3	13	5	10	6	2	5	2	2	7	8	68

③ 事業別参加人数

区分	事業名	開催日	参加人数
講演会等	平成 21 年度発掘調査報告会	平成 22 年 4 月 10 日	93 人
	秋季講演会	平成 22 年 10 月 2 日	62 人
	冬季講演会	平成 23 年 2 月 5 日	50 人
考古学教室	考古学入門講座	平成 22 年 5 月 15 日	30 人
	ガラス玉づくり	平成 22 年 6 月 19 日	15 人
	竪穴住居模型づくり	平成 22 年 8 月 21 日	6 人
	石器づくり	平成 22 年 11 月 27 日	13 人
	拓本講座	平成 23 年 3 月 12 日	9 人
親子 考古学教室	親子ガラス玉づくり	平成 22 年 6 月 26 日	20 人
	写生会	平成 22 年 7 月 24 日～8 月 29 日	20 人
	夏休み親子考古学教室(第 1 回)	平成 22 年 7 月 24 日	39 人
	夏休み親子考古学教室(第 2 回)	平成 22 年 7 月 31 日	41 人
	冬休み親子考古学教室(第 1 回)	平成 23 年 1 月 8 日	11 人
	冬休み親子考古学教室(第 2 回)	平成 23 年 1 月 15 日	33 人
	冬休み縄文生活体験ひろば	平成 23 年 1 月 4 日～2 月 13 日	12 人
	冬休み親子写真撮影会		
研修会	平成 22 年度埋蔵文化財担当職員研修会	平成 23 年 2 月 4 日	23 人

④ 平成 22 年度テーマ展日程

	展 示 名	展示期間
1	(財)北海道埋蔵文化財センター 平成 21 年度発掘調査成果展	平成 22 年 3 月 27 日～6 月 7 日
2	世界遺産を目指す北の縄文展	平成 22 年 4 月 1 日～25 年 3 月 31 日
3	わかる考古学 5—縄文生活体験ひろば—展	平成 22 年 7 月 10 日～10 月 11 日
4	北海道遺跡百選 3—北海道埋蔵文化財センターの調査から	平成 22 年 10 月 30 日～23 年 3 月 6 日
5	(財)北海道埋蔵文化財センター 平成 22 年度発掘調査成果展	平成 23 年 3 月 26 日～6 月 5 日

⑤平成 22 年度考古学教室出前講座一覧

事業分

市町村	実施場所	実施日	参加人数
福島町	福島町福祉センター	平成 22 年 8 月 6 日	38 名
上ノ国町	上ノ国町総合福祉センター	平成 22 年 8 月 7 日	20 名
本別町	本別町中央公民館	平成 22 年 8 月 7 日	14 名
知内町	知内町郷土資料館	平成 22 年 8 月 8 日	18 名
根室市	根室市立北斗小学校	平成 22 年 11 月 19 日	73 名
厚岸町	厚岸町立真龍小学校	平成 22 年 11 月 20 日	9 名
標津町	標津町ポー川史跡自然公園旧小学校校舎	平成 22 年 11 月 21 日	40 名

(7)文化財情報の発信

文化財の価値や魅力を子どもたちや道民に広く知ってもらうため、北海道教育委員会のホームページで文化財情報の発信を行いました。

主な文化財情報は次のとおりです。ぜひ、アクセスしてみてください。

ホームページタイトル	公開日	主 な 内 容
北の遺跡案内	平成 16 年～ (随時更新)	北海道内に所在する埋蔵文化財包蔵地の位置を地図上に示し、あわせて遺跡名、所在地、時期、出土遺物などの遺跡情報を公開しています。 URL : http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/kitanoisekiannai.htm
指定文化財をみることのできる主な博物館・資料館	平成 20 年 1 月 30 日	国指定や道指定などの文化財を展示・公開している博物館・郷土資料館について、主な見どころと所在地などを紹介しました。 URL : http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/19museum-guide.htm
文化財まる知ナビ	平成 20 年～ (随時更新)	文化財に関する情報をニュースレター形式で分かりやすく解説したものです。年 4 回発行しています。 URL : http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/bunkazaimaruchinabi.htm
平成 21 年度北海道文化財年報	平成 22 年 5 月 24 日	平成 21 年度の北海道における文化財保護の動き、現状についてわかりやすくまとめ、公開しました。 URL : http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/21bunkazai-nenpo.htm
平成 22 年度文化財保護強調月間	平成 22 年 7 月 29 日	北海道文化財強調月間 (10 月 8 日～11 月 7 日) 期間中に開催された文化財公開・活用事業ガイドブックを公開するとともに、小学生～高校生が応募

		したキャッチフレーズやシンボルマークを掲載しました。
	URL : http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/kyoutyougekkān.htm	
市町村における発掘調査の概要(平成 22 年度版)	平成 23 年 5 月 27 日	平成 22 年度に市町村教育委員会が実施した発掘調査について紹介しました。
	URL : http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/h22gaiyou.htm	
もっと知ろう身近な文化財(指定文化財概要一覧)	平成 21 年 12 月 16 日～ (随時更新)	国指定・道指定の概要について画像とともに紹介しました。
	URL : http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/shiteibunnkazaijoho.htm	
「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の世界文化遺産登録をめざして	平成 21 年 8 月 7 日～ (随時更新)	「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の世界文化遺産登録にむけたフォーラムや特別展などの取組について紹介しました。
	URL : http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/wh.htm	

(8) 文化財関係機関・団体リンク

1	文化庁	http://www.bunka.go.jp/
2	北海道環境生活部道民活動文化振興課	http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/dbs/
3	財団法人北海道埋蔵文化財センター	http://www.domaibun.or.jp/
4	北海道文化財保護協会	http://www10.ocn.ne.jp/~bunkazai/